

様式7

年間指導計画表(シラバス)

科目名	論理国語	単位数	2単位
		学年等	3年生普通科普通・創造表現コース

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次の通り育成することを目指す。</p> <p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値の認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 精選 論理国語(明治書院)</p> <p>副教材 論理的に読み・書く 現代文記述講座 発展編(数研出版) *普通科文型のみ 上級現代文 I (桐原書店) *普通科文型のみ 完成現代文 大学入学共通テスト対策 3ステップオリジナル問題集(尚文出版) 2026共通テスト対策実力養成 重要問題演習 現代文(ベネッセコーポレーション) 大学入試 頻出漢字 2500(文英堂) 総合版共通テスト国語過去問題令和3~7年(尚文出版) 2026共通テスト 直前対策問題集 Vol.5国語(河合出版) 評論・小説を読むための新現代文単語改訂版(いっずな書店) *継続使用 文学国語セレクション(東京書籍) *継続使用 プレミアムカラー国語便覧(数研出版)*継続使用</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

考査	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回	「『である』ことと『する』こと」(丸山真男) 演習	定期考査等	定期考査等	課題の提出 授業中の行動観察 実力テスト
	評価点	50点	50点	50点
2回	「日本文化の雑種性」(加藤周一) 演習	定期考査等	定期考査等	課題の提出 授業中の行動観察
	評価点	50点	50点	50点
3回	演習	定期考査等	定期考査等	課題の提出 授業中の行動観察
	評価点	50点	50点	50点
4回	演習	課題の提出等	課題の提出等	課題の提出 授業中の行動観察
	評価点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
前期	4	『『である』ことと『する』こと』(丸山真男) ◇近代から現代へ、どのように変化してきたかを考える ◇言葉の働きを理解し、効率的に使う ◇推敲し共有する	20	
	5	演習 ◇文章を正確に読み取ることで、物事に関する関心と問題意識を深める		
	6		第1回考査	
	7	「日本文化の雑種性」(加藤周一) ◇雑種文化について考える	16	
	8	◇筆者の主張の論証の過程について理解する ◇反論を想定した意見を論述する		
	9	演習 ◇文章を正確に読み取ることで、物事に関する関心と問題意識を深める		
			第2回考査	
	後期	10	演習 ◇文章を正確に読み取ることで、物事に関する関心と問題意識を深める (評論)文章を正確に読み取ることで、その論理性を評価することで問題意識を深める	14
		11	(小説)文章を正確に読み取ることで、書き手の意図や、人物・情景・心情を理解し、その表現を味わう ◇共通テストの出題形式を意識した演習問題を通して、形式に慣れ、実際のテストに対応できる力を身に付ける	
12			第3回考査	
1		演習	20	

5 その他

○漢字テスト・現代文単語の小テストを実施します。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	古典探究	単位数	4単位
		学年等	3年生普通科普通(文科型)

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 古典探究 古文編 漢文編(大修館書店)</p> <p>副教材 グラン古典(尚文出版)</p> <p>総合版共通テスト国語過去問題令和3～7年</p> <p>2026共通テスト対策実力養成 重要問題演習古典(ベネッセコーポレーション)</p> <p>超入試対策実践記述力強化演習古文(尚文出版)</p> <p>超入試対策実践記述力強化演習漢文(尚文出版)</p> <p>わかる・読める・解ける key & point 古文単語 330(いっずな書店)*継続使用</p> <p>基礎から解釈へ漢文必携(桐原書店)*継続使用</p> <p>読解を大切に体系古典文法(数研出版)*継続使用</p> <p>プレミアムカラー国語便覧(数研出版)*継続使用</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化としての担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回	蜻蛉日記「町の小路の女」 和泉式部日記「薫る香に」 去来抄「行く春に」 柳宗元「捕蛇者説」	定期考査等	定期考査等	課題の提出 授業中の行動観察
	評価点	50点	50点	50点
2回	無名抄「おもて歌」 正徹物語「沓冠の折句」 源氏物語「須磨の秋」 韓愈「師説」 漢詩	定期考査等	定期考査等	課題の提出 授業中の行動観察
	評価点	50点	50点	50点
3回	問題演習	定期考査等	定期考査等	課題の提出 授業中の行動観察
	評価点	50点	50点	50点
4回	問題演習	課題の提出等	課題の提出等	課題の提出 授業中の行動観察
	評価点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
前期	4	日記 蜻蛉日記「町の小路の女」	40	
		日記 和泉式部日記「薫る香に」		
	5	文章 柳宗元「捕蛇者説」	32	
		俳論 去来抄「行く春を」		
	6	問題演習		第1回考査
	7	歌論 無名抄「おもて歌」		
		歌論 正徹物語「沓冠の折句」		
	8	物語 源氏物語「須磨の秋」		
	9	文章 韓愈「師説」		
		漢詩		
10	問題演習	第2回考査		
後期	10	問題演習		28
	11	・古典の知識に基づき、文章を読んでその内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 ・文章の表現上の特色を理解する。 ・古典文法・句形などの知識を用いて、設問の意図を理解したうえで的確に解答を作成する力を身に付ける。 ・作品の内容・文章表現を理解し、自己の思考と表現力を高める。		
	12		第3回考査	
	1	問題演習	40	

5 その他

○古文単語テスト・漢文基本小テストを毎週実施します。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	古典探究	単位数	2単位
		学年等	3年生普通科普通(理科型)

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 古典探究 古文編 漢文編(大修館書店)</p> <p>副教材 グラン古典(尚文出版)</p> <p>総合版共通テスト国語過去問題令和3～7年</p> <p>2026共通テスト対策実力養成 重要問題演習古典(ベネッセコーポレーション)</p> <p>マーク試験のための古典10(尚文出版)</p> <p>わかる・読める・解ける key & point 古文単語 330(いいずな書店)*継続使用</p> <p>基礎から解釈へ漢文必携(桐原書店)*継続使用</p> <p>読解を大切に体系古典文法(数研出版)*継続使用</p> <p>プレミアムカラー国語便覧(数研出版)*継続使用</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化としての担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回	蜻蛉日記「町の小路の女」 和泉式部日記「薫る香に」 柳宗元「捕蛇者説」	定期考査等	定期考査等	課題の提出 授業中の行動観察
	評価点	50点	50点	50点
2回	無名抄「おもて歌」 正徹物語「沓冠の折句」 韓愈「師説」 漢詩	定期考査等	定期考査等	課題の提出 授業中の行動観察
	評価点	50点	50点	50点
3回	問題演習	定期考査等	定期考査等	課題の提出 授業中の行動観察
	評価点	50点	50点	50点
4回	問題演習	課題の提出等	課題の提出等	課題の提出 授業中の行動観察
	評価点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
前期	4	日記 蜻蛉日記「町の小路の女」	20	
	5	日記 和泉式部日記「薫る香に」		
	6	文章 柳宗元「捕蛇者説」		
			第1回考査	
	7	歌論 無名抄「おもて歌」	16	
		歌論 正徹物語「雀冠の折句」		
	8	文章 韓愈「師説」		
	9	漢詩 問題演習	第2回考査	
	後期	10	問題演習	14
11		・古典の知識に基づき、文章を読んでその内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 ・文章の表現上の特色を理解する。 ・古典文法・句形などの知識を用いて、設問の意図を理解したうえで的確に解答を作成する力を身に付ける。 ・作品の内容・文章表現を理解し、自己の思考と表現力を高める。		
12		第3回考査		
1		問題演習	20	

5 その他

○古文単語テスト・漢文基本小テストを毎週実施します。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	古典探究	単位数	3単位
		学年等	3年生普通科創造表現コース

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 古典探究 古文編 漢文編(大修館書店)</p> <p>副教材 グラン古典(尚文出版)</p> <p>総合版共通テスト国語過去問題令和3～7年</p> <p>2026 共通テスト対策実力養成 重要問題演習古典(ベネッセコーポレーション)</p> <p>マーク試験のための基本演習 古典10(尚文出版)</p> <p>わかる・読める・解ける key & Point 古文単語 330(いいずな書店)*継続使用</p> <p>基礎から解釈へ漢文必携(桐原書店)*継続使用</p> <p>読解を大切に体系古典文法(数研出版)*継続使用</p> <p>プレミアムカラー国語便覧(数研出版)*継続使用</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化としての担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回	蜻蛉日記「町の小路の女」 和泉式部日記「薫る香に」 去来抄「行く春に」 柳宗元「捕蛇者説」	定期考査等	定期考査等	課題の提出 授業中の行動観察
	評価点	50点	50点	50点
2回	無名抄「おもて歌」 正徹物語「沓冠の折句」 源氏物語「須磨の秋」 韓愈「師説」 漢詩	定期考査等	定期考査等	課題の提出 授業中の行動観察
	評価点	50点	50点	50点
3回	問題演習	定期考査等	定期考査等	課題の提出 授業中の行動観察
	評価点	50点	50点	50点
4回	問題演習	課題の提出等	課題の提出等	課題の提出 授業中の行動観察
	評価点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
前期	4	日記 蜻蛉日記「町の小路の女」	30	
	5	日記 和泉式部日記「薫る香に」		
	6	文章 柳宗元「捕蛇者説」 俳論 去来抄「行く春を」 問題演習		
	7	歌論 無名抄「おもて歌」	24	
	8	歌論 正徹物語「雀冠の折句」		
	9	物語 源氏物語「須磨の秋」		
		文章 韓愈「師説」 漢詩 問題演習		
			第1回考査	
			第2回考査	
後期	10	問題演習	21	
	11	・古典の知識に基づき、文章を読んでその内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 ・文章の表現上の特色を理解する。 ・古典文法・句形などの知識を用いて、設問の意図を理解したうえでの確に解答を作成する力を身に付ける。 ・作品の内容・文章表現を理解し、自己の思考と表現力を高める。		
	12		30	
	1	問題演習		
		第3回考査		

5 その他

○古文単語テスト・漢文基本小テストを毎週おこないます。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	世界史研究	単位数	4単位
		学年等	3年生普通科普通(文科型)

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 世界の歴史の大きな枠組みと展開にかかわる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 世界の歴史の大きな枠組みと展開にかかわる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 世界の歴史の大きな枠組みと展開にかかわる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 東京書籍『世界史探究』</p> <p>問題集 啓隆社『世界史重要語句チェックリスト』</p> <p>資料集 帝国書院『最新世界史図説 タバストリー 二十二訂版』</p> <p>問題集 啓隆社『2026年版 共通テスト実カトレーニング 世界史』</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

考查	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回	諸地域の交流・再編 ・世界の一体化とユーラシア諸帝国の繁栄 ・主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大	定期考查等	定期考查等 授業ワークシート	授業中の行動観察 レポート 単元シート
	評価点	50点	50点	50点
2回	諸地域の結合・変容 ・世界市場の形成と諸地域の結合 ・帝国主義とナショナリズムの高揚 ・第二次世界大戦と諸地域の変容	定期考查等	定期考查等 授業ワークシート	授業中の行動観察 レポート 単元シート
	評価点	50点	50点	50点

3回	地球世界の課題 ・国際機構の形成と平和への模索 ・経済のグローバル化と格差の是正 ・科学技術の高度化と知識基盤社会 ・地球世界の課題と探究	定期考査等	定期考査等 授業ワークシート	授業中の行動観察 レポート 単元シート
	評価点	50点	50点	50点
4回	問題演習およびテーマ史	学習課題等	学習課題等	授業中の行動観察
	評価点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
前期	4	諸地域の交流・再編 ・大航海時代と世界の一体化	40	
	5	・ユーラシア諸帝国の繁栄		
	6	・主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大		
			第1回考査	
	7	諸地域の結合と変容 ・世界市場の形成とアジア諸国の変容	32	
	8	・アジアアフリカ諸国の統治再編と世界分割の進行		
	9	・第一次世界大戦の展開と諸地域の変容 ・国際協調体制の動揺と第二次世界大戦 ・第二次世界大戦と戦後の東アジア		
				第2回考査
	後期	10	地球世界の課題 ・国際機構の形成と平和への模索	28
11		・経済のグローバル化と格差の是正		
12		・科学技術の高度化と知識基盤社会 ・地球世界の課題と探究		
			第3回考査	
1		問題演習及びテーマ史	40	
2		・過去問を解く		
3		・地域各国史、貨幣史、文字やメディア史など		

5 その他

<p>○1年間を通して資料読解や生徒間対話を通して歴史的思考力を養う。</p> <p>○各単元や授業でプリントやレポートの提出を求める。</p>
--

年間指導計画表(シラバス)

科目名	日本史研究	単位数	4単位
		学年等	3年生普通科普通(文科型)

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 詳説日本史(山川出版社)</p> <p>副教材 詳説日本史ノート(山川出版社) 新詳日本史(浜島書店) ウィニングコンパス日本史の整理と演習(東京法令出版)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解し、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目しながら、考察、構想したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

考查	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回	[第3部 近世] 第9章 幕藩体制の成立と展開 第10章 幕藩体制の動揺	・定期考查等	・定期考查等	・授業中の行動観察 ・提出物
	評価点	50点	50点	50点
2回	第11章 近世から近代へ [第4部 近代・現代] 第12章 近代国家の成立 第13章 近代国家の展開	・定期考查等	・定期考查等	・授業中の行動観察 ・提出物
	評価点	50点	50点	50点
3回	第14章 近代の産業と生活 第15章 恐慌と第二次世界大戦 第16章 占領下の日本 第17章 高度成長の時代	・定期考查等	・定期考查等	・授業中の行動観察 ・提出物
	評価点	50点	50点	50点
4回	第18章 激動する世界と日本 問題演習等	・提出物	・提出物	・授業中の行動観察 ・提出物
	評価点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	〔第3部 近世〕 第9章 幕藩体制の成立と展開 1節 幕藩体制の成立 2節 幕藩社会の構造	40
	5	3節 幕政の安定 4節 経済の発展 5節 元禄文化	
前期	6	第10章 幕藩体制の動揺 1節 幕政の改革 2節 宝暦・天明期の文化 3節 幕府の衰退と近代への道 4節 化政文化	32
	7	第11章 近世から近代へ 1節 開国と幕末の動乱 2節 幕府の滅亡と新政府の発足	
	8	〔第4部 近代・現代〕 第12章 近代国家の成立 1節 明治維新と富国強兵 2節 立憲国家の成立	
	9	第13章 近代国家の展開 1節 日清・日露戦争と国際関係 2節 第一次世界大戦と日本 3節 ワシントン体制	
後期	10	第14章 近代の産業と生活 1節 近代産業の発展 2節 近代文化の発達 3節 市民生活の変容と大衆文化	28
	11	第15章 恐慌と第二次世界大戦 1節 恐慌の時代 2節 軍部の台頭 3節 第二次世界大戦	
		第16章 占領下の日本 1節 占領と改革 2節 冷戦の開始と講和	
		第17章 高度成長の時代 1節 55年体制	
	12	2節 経済復興から高度経済成長へ	
1	第18章 激動する世界と日本 1節 経済大国への道 2節 冷戦の終結と日本社会の変容 大学入学共通テストの過去の試験問題演習を中心に行う。	40	

5 その他

- 様々な資料から多面的・多角的に考察するとともに、課題解決を視野に入れて構想する力を育成します。
- 授業ノートなどの定期的な提出があります。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	日本史探究	単位数	4単位
		学年等	3年生普通科創造表現コース

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解し、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。</p> <p>(2) 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目しながら、考察、構想したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。</p> <p>(3) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている。</p>
使用教科書副教材等	<p>教科書 詳説日本史(山川出版社)</p> <p>副教材 詳説日本史ノート(山川出版社) 新詳日本史(浜島書店)</p> <p>ウィニングコンパス日本史の整理と演習(東京法令出版)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解し、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目しながら、考察、構想したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

考査	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回	[第1部 原始・古代] 第1章 日本文化のあけぼの 第2章 古墳とヤマト政権 第3章 律令国家の形成 第4章 貴族政治の展開 [第2部 中世] 第5章 院政と武士の躍進 第6章 武家政権の成立 第7章 武家社会の成長	・定期考査等	・定期考査等	・授業中の行動観察 ・提出物
	評価点	50点	50点	50点
2回	[第3部 近世] 第8章 近世の幕開け 第9章 幕藩体制の成立と展開 第10章 幕藩体制の動揺 [第4部 近代・現代] 第11章 近世から近代へ 第12章 近代国家の成立	・定期考査等	・定期考査等	・授業中の行動観察 ・提出物
	評価点	50点	50点	50点
3回	[第4部 近代・現代] 第13章 近代国家の展開 第14章 近代の産業と生活 第15章 恐慌と第二次世界大戦 第16章 占領下の日本 第17章 高度成長の時代 第18章 激動する世界と日本	・定期考査等	・定期考査等	・授業中の行動観察 ・提出物
	評価点	50点	50点	50点
4回	問題演習	・提出物	・提出物	・授業中の行動観察 ・提出物
	評価点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
	4	[第1部 原始・古代] 第1章 日本文化のあけぼの 1節 文化の始まり 2節 農耕社会の成立	4

前期	5	第2章 古墳とヤマト政権	4
		1節 古墳文化の展開	
		2節 飛鳥の朝廷	
		第3章 律令国家の形成	8
	5	1節 律令国家への道	
		2節 平城京の時代	
		3節 律令国家の文化	
		4節 律令国家の変容	
	6	第4章 貴族政治の展開	6
		1節 摂関政治	
		2節 国風文化	
		3節 地方政治の展開と武士	
	6	[第2部 中世]	
		第5章 院政と武士の躍進	4
		1節 院政の始まり	
		2節 院政と平氏政権	
		第6章 武家政権の成立	8
		1節 鎌倉幕府の成立	
		2節 武士の社会	
		3節 モンゴルの襲来と幕府の衰退	
4節 鎌倉文化			
第7章 武家社会の成長		8	
1節 室町幕府の成立			
2節 幕府の衰退と庶民の台頭			
3節 室町文化			
4節 戦国大名の登場	第1回考査		
7	[第3部 近世]		
	第8章 近世の幕開け	4	
	1節 織豊政権		
	2節 桃山文化		
	第9章 幕藩体制の成立と展開	10	
	1節 幕藩体制の成立		
	2節 幕藩社会の構造		
	3節 幕政の安定		
	4節 経済の発展		
	5節 元禄文化		
8	第10章 幕藩体制の動揺	8	
	1節 幕政の改革		
	2節 宝暦・天明期の文化		
	3節 幕府の衰退と近代への道		
9	4節 化政文化		
	[第4部 近代・現代]		
	第11章 近世から近代へ	4	
	1節 開国と幕末の動乱		
2節 幕府の滅亡と新政府の発足			
9	第12章 近代国家の成立	4	
	1節 明治維新と富国強兵		
	2節 立憲国家の成立	第2回考査	

後期	10	第13章 近代国家の展開 1節 日清・日露戦争と国際関係 2節 第一次世界大戦と日本 3節 ワシントン体制	6	
		第14章 近代の産業と生活 1節 近代産業の発展 2節 近代文化の発達 3節 市民生活の変容と大衆文化	6	
		第15章 恐慌と第二次世界大戦 1節 恐慌の時代 2節 軍部の台頭 3節 第二次世界大戦	6	
	11	第16章 占領下の日本 1節 占領と改革 2節 冷戦の開始と講和	4	
		第17章 高度成長の時代 1節 55年体制 2節 経済復興から高度経済成長へ	4	
		第18章 激動する世界と日本 1節 経済大国への道	2	
	12	2節 冷戦の終結と日本社会の変容	第3回考査	
	1	大学入学共通テストの過去の試験問題演習を中心に行う。	40	
	5 その他			

- 様々な資料から多面的・多角的に考察するとともに、課題解決を視野に入れて構想する力を育成します。
- 授業ノートなどの定期的な提出があります。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	地理探究	単位数	4単位
		学年等	3年生普通科普通

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大切さについての自覚などを深める。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 新詳地理探究(帝国書院) 新詳高等地図(帝国書院)</p> <p>副教材 新編地理資料2024(東京法令出版) データブック オブ・ザ・ワールド 2025(二宮書店)</p> <p>問題集 ニューコンパスノート 地理 2024(東京法令出版)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を身に付け、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大切さについての自覚などを深めている。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

考査	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回	現代世界の系統地理的考察 第1章 自然環境 第2章 資源と産業 第3章 交通・通信と観光、貿易 第4章 人口、村落・都市 第5章 生活文化、民族・宗教	定期考査等	定期考査等	授業中の行動観察 課題等の記述分析
	評価点	50点	50点	50点
2回	現代世界の地誌的考察 第1章 現代世界の地域区分 第2章 現代世界の諸地域	定期考査等	定期考査等	授業中の行動観察 課題等の記述分析
	評価点	50点	50点	50点
3回	現代世界におけるこれからの日本の国土像 第1章 持続可能な国土像の探究	定期考査等	定期考査等	授業中の行動観察 課題等の記述分析
	評価点	50点	50点	50点
4回	問題演習等	課題等の記述分析	課題等の記述分析	授業中の行動観察 課題等の記述分析
	評価点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	第1部 現代世界の系統地理的考察 第1章 自然環境 ①地球環境と人間 ①地形 ②気候 ③日本の自然環境 ④地球環境問題	10
		第2章 資源と産業 ①農林水産業 ②食料問題 ③エネルギー・鉱産資源 ④資源・エネルギー問題	10
	5	⑤工業 ⑥第3次産業	
		第3章 交通・通信と観光、貿易 ①交通・通信 ②観光 ③貿易と経済圏	4
	6	第4章 人口、村落・都市 ①人口 ②人口問題 ③村落と都市 ④都市・居住問題	8
		第5章 生活文化、民族・宗教 ①衣食住 ②民族・宗教と民族問題 ③国家の領域と領土問題	8
		第1回考査	
		◆-----	
	7	第2部 現代世界の地誌的考察 第1章 現代世界の地域区分 ①地域区分	2
		第2章 現代世界の諸地域	30
8	①地域の考察方法 ①中国 ②韓国		
	③ASEAN 諸国 ④インド ⑤西アジアと中央アジア		
9	⑥北アフリカとサハラ以南アフリカ ⑦EU 諸国 ⑧ロシア		
	⑨アメリカ合衆国 ⑩ラテンアメリカ		
	⑪オーストラリアとニュージーランド		
	第2回考査		
	◆-----		
後期	10	第3部 現代世界におけるこれからの日本の国土像 第1章 持続可能な国土像の探究 ①将来の国土の在り方 ②持続可能な日本の国土像の探究	28
	11	第3回考査	
		◆-----	
	12 1	問題演習	40

5 その他

- 図表や地図などから様々な情報を読み取る技能、それらの背景を考察する力、考察したことを生活に役立てる力を育成します。
- 授業プリントには、板書事項を書き写すだけでなく、必要な情報を書き込んでください。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	政治・経済	単位数	4単位
		学年等	3年生普通科普通(文科型)

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。</p> <p>(3) よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。</p>
使用教科書 副教材等	教科書 政治・経済(東京書籍) 副教材 最新政治・経済資料集 2025(第一学習社)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<p>現代日本における政治・経済の諸課題およびグローバル化する国際社会の諸課題について、基礎的な知識を身に付け、理解を深めている。</p> <p>諸資料から課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けている。</p>	<p>現代日本における政治・経済の諸課題およびグローバル化する国際社会の諸課題について多面的・多角的に考察、構想し、表現できている。</p>	<p>よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

考查	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回	第1編 現代日本の政治と経済 第1章 現代日本の政治 第2章 現代日本の経済 第3章 現代日本の諸課題	・定期考查等	・定期考查等	・授業中の行動観察 ・提出物
	評価点	50点	50点	50点
2回	第2編 グローバル化する国際社会 第1章 現代の国際政治 第2章 現代の国際経済 第3章 国際社会の諸課題	・定期考查等	・定期考查等	・授業中の行動観察 ・提出物
	評価点	50点	50点	50点
3回	総復習	・定期考查等	・定期考查等	・授業中の行動観察 ・提出物
	評価点	50点	50点	50点
4回	総復習	・学習課題等	・学習課題等	・授業中の行動観察
	評価点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	第1編 現代日本の政治と経済 第1章 現代日本の政治 1節 民主政治の基本原則	40
	5	2節 日本国憲法の基本原則 3節 日本の政治機構 4節 現代政治の特質と課題 第2章 現代日本の経済	
	6	1節 現代の資本主義経済 2節 現代経済のしくみ 3節 日本経済の発展と現状 4節 福祉社会と日本経済の課題 第3章 現代日本の諸課題	
		第1回考査	
		◆第2編 グローバル化する国際社会	
	7	第1章 現代の国際政治 1節 国際政治のしくみ	
	8	2節 複雑化する国際政治と日本 第2章 現代の国際経済	
	9	1節 国民経済と国際経済 2節 世界経済の現状と課題 第3章 国際社会の諸課題	
		第2回考査	
		◆	
後期	10	総復習	28
	11	問題演習を通して、これまでの学習内容の理解の定着を図る	
	12	第3回考査	
	1	◆	
		総復習	40
		問題演習を通して、これまでの学習内容の理解の定着を図る	

5 その他

<p>ア 各学期の定期考査では、出題範囲における知識と技能の習得の状況、思考力・判断力・表現力を評価します。</p> <p>イ 現代の諸課題を探究する際のレポートを評価のための資料とします。課題の設定・追究、まとめの学習を行う際には、教科書の「探究のスキル」などを参考にしてください。</p> <p>ウ 学習活動の様子や発表、討論、論述などの内容を評価のための資料とします。</p> <p>エ 自己評価や振り返りシートを参考にします。学習内容の振り返りを行う際には、教科書の節末にある「節のまとめ」や「節の課題に取り組もう」などを参考にしてください。</p>

年間指導計画表(シラバス)

科目名	倫理	単位数	4単位
		学年等	3年生普通科普通(文科型)・創造表現コース

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>人間としての在り方生き方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりする力を養う。</p> <p>(3) 人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしていたりする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 高等学校 新倫理(清水書院)</p> <p>副教材 テオリーア最新倫理資料集(第一学習社)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<p>古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解している。</p> <p>諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめることができる。</p>	<p>自立した人間として、他者と共によりよく生きる自己の生き方について、より深く思索することができる。</p> <p>現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して、論理的に思考し、説明したり対話したりすることができる。</p>	<p>人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしている。</p> <p>多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深めている。</p>
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

考查	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回	<p>第1編 現代を生きる自己の課題</p> <p>第1章 個性的な主体としての自己</p> <p>第2章 心と行動をめぐる探究</p> <p>第2編 人間としての自覚</p> <p>第1章 哲学の始源</p> <p>第2章 唯一神の宗教</p> <p>第3章 東洋思想の源流</p> <p>第4章 芸術と倫理</p> <p>第3編 現代をかたちづくる倫理</p> <p>第1章 近代の成立</p> <p>第2章 世界と人間をめぐる探究</p>	・定期考查等	・定期考查等 ・提出物	・授業中の行動観察 ・提出物
	評価点	50点	50点	50点
2回	<p>第4編 国際社会に生きる日本人としての自覚</p> <p>第1章 日本の風土と精神文化</p> <p>第2章 日本の近代化と人々の生き方</p> <p>第5編 現代における諸課題の探究</p> <p>第1章 自然や科学技術をめぐる諸課題</p> <p>第2章 社会や文化にかかわる諸課題</p>	・定期考查等	・定期考查等 ・提出物	・授業中の行動観察 ・提出物
	評価点	50点	50点	50点

3回	総復習	・定期考査等	・定期考査等 ・提出物	・授業中の行動観察 ・提出物
	評価点	50点	50点	50点
4回	総復習	・学習課題等	・学習課題等	・授業中の行動観察
	評価点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	第1編 現代を生きる自己の課題 第1章 個性的な主体としての自己 第2章 心と行動をめぐる探究 第2編 人間としての自覚	40
	5	第1章 哲学の始源:ギリシア思想 第2章 唯一神の宗教:キリスト教・イスラーム教 第1節 愛の教え—キリスト教 第2節 戒律と平等の教え—イスラーム教 第3章 東洋思想の源流:仏教・儒教 第1節 智恵と慈悲の教え—仏教 第2節 仁と礼の教え—儒教 第4章 芸術と倫理	
	6	第3編 現代をかたちづくる倫理 第1章 近代の成立 第2章 世界と人間をめぐる探究 第1節 人間の尊厳 第2節 真理の認識—経験論と合理論 第3節 民主社会と倫理 第4節 現代社会と個人 第5節 近代の世界観・人間観の問いなおし	
	7	◆-----第1回考査 第4編 国際社会に生きる日本人としての自覚 第1章 日本の風土と精神文化 第1節 日本人の人間観・自然観・宗教観	
	8	第2節 日本人の仏教受容 第3節 近世社会の思想	
	9	第2章 日本の近代化と人々の生き方 第1節 西洋近代精神の摂取 第2節 近代的個人の自覚 第3節 主体的な生き方と価値観の模索	
	10	◆-----第2回考査 第5編 現代における諸課題の探究 第1章 自然や科学技術をめぐる諸課題 第2章 社会や文化にかかわる諸課題	
	11	◆-----第3回考査	
	12	◆-----	
	1	◆-----	
後期	10	総復習	28
	11	問題演習を通して、これまでの学習内容の理解の定着を図る	
後期	12	◆-----	40
	1	総復習 問題演習を通して、これまでの学習内容の理解の定着を図る	

5 その他

<p>ア 各学期の定期考査では、出題範囲における知識と技能の習得の状況、思考力・判断力・表現力を評価します。</p> <p>イ 教科書の各節の「まとめ」や「思考と対話」の WORK、TRY、第2編の各節の「探究課題」についてのレポートやワークシートを、評価のための資料とします。レポート作成の際には、教科書の「第2編『倫理』における探究」などを参考にしてください。</p> <p>ウ 学習活動の様子や発表、討論、論述などの内容を評価のための資料とします。</p> <p>エ 自己評価や振り返りシートを参考とします。</p>

年間指導計画表(シラバス)

科目名	数学演習A	単位数	4単位
		学年等	3年生普通科普通(文科型)

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>既習事項の内容について、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能の育成。</p> <p>(2) 論理的に考察する力、ある事象に着目し、既習の性質などに基づいて判断する力、事象を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、数学のよさを見いだし、数理的に考察する発展構造的な力の育成。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の育成。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 数学B (数研出版)</p> <p>問題集 新課程 メジアン 数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C 受験編(数研出版)</p> <p>2026 共通テスト対策実力完成直前演習数学ⅠA(ラーズ)</p> <p>2026 共通テスト対策実力完成直前演習数学ⅡBC(ラーズ)</p> <p>オリジナルプリント</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<p>数学ⅠAⅡBCの各分野において、基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識を身に付けている。</p> <p>事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。</p>	<p>数学ⅠAⅡBCの各分野において、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な思考力を身に付けている。</p>	<p>数学ⅠAⅡBCの各分野の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。</p>
評価点	400点	400点	400点

3 評価の計画

考査	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回	<p>場合の数と確率 2次関数</p> <p>微分法・積分法 数列</p> <p>ベクトル</p>	定期考査等	定期考査等	授業中の行動観察 学習課題等
	評価点	100点	100点	100点
2回	<p>図形と方程式 三角関数</p> <p>指数関数・対数関数 数学と人間の活動</p> <p>統計的な推測</p>	定期考査等	定期考査等	授業中の行動観察 学習課題等
	評価点	100点	100点	100点
3回	<p>総合演習</p>	定期考査等	定期考査等	授業中の行動観察 学習課題等
	評価点	100点	100点	100点
4回		学習課題等	学習課題等	授業中の行動観察 学習課題等
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期		問題集から抜粋した入試問題を解くことで、その有用性について認識し、事象の考察を行う。	75
	4	場合の数と確率 2次関数	
	5	微分法・積分法 数列	
	6	ベクトル	
	7	◆-----第1回考査	
	8	図形と方程式	
	9	三角関数 指数関数・対数関数	
	9	数学と人間の活動 統計的な推測	
	9	◆-----第2回考査	
後期	10	総合的な問題の演習を通じて、教科内容の理解を深めるとともに、発展的な思考ができる実力を養成する。	65
	11		
	12	◆-----第3回考査	
	1		

5 その他

<p>①予習について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必ず解答を見ずに、まず解くこと。(初めて見るような問題に出くわした際も、いかに問題にアプローチしていくかという力が必要である。初めから解答を見ているとそのような力がつかないうえ、内容も定着しない。)解けた問題と解けなかった問題を明確にし、授業で解けなかった問題を確認するようにするとよい。 <p>②復習について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一度答案を整理した後、解答を見ずに答案が書けるようにすること。最初はまねてもよいので、きちっとした答案を作ること。答案は小論文と同じと考えてよい。いかに相手を納得させるかが大切となる。この力は、日頃から訓練してはじめてつくもので、ある日突然力がつくものではない。 ・問題解決にスピードを要することもある。しっかりとした記述力があれば、秋以降からの演習でスピードも十分ついてくる。 <p>③以下のような学習サイクルをつくること。</p> <p>→ 予習 (理解できる問題とできない問題の区別)</p> <p>↑ ↓</p> <p>↑ 授業 (理解できた問題の定着および理解できなかった問題の確認)</p> <p>↑ ↓</p> <p>↑ 復習 (理解できなかった問題の定着)</p> <p>↑ ↓</p> <p>← 授業で扱わなかった問題を解く(充実・発展)</p>
--

年間指導計画表(シラバス)

科目名	数学Ⅲ	単位数	3 単位
		学年等	3年生普通科普通(理科型)

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりする力、いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 数学Ⅲ(数研出版)</p> <p>副教材 新課程チャート式基礎からの数学Ⅲ+C(数研出版)</p> <p>新課程教科書傍用サクシード数学Ⅲ+C(数研出版)</p> <p>チョイス新標準問題集数学Ⅲ+C(河合出版)(予定)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。	数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察できる。関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察できる。いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりできる。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしている。粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
評価点	200 点	200 点	200 点

3 評価の計画

考査	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回	〔第2章〕 極限	・定期考査等	・定期考査等	・授業中の行動観察 ・基礎力テスト等
	評価点	50 点	50 点	50 点
2回	〔第2章〕 極限 〔第3章〕 微分法 〔第4章〕 微分法の応用 〔第5章〕 積分法	・定期考査等	・定期考査等	・授業中の行動観察 ・基礎力テスト等
	評価点	50 点	50 点	50 点
3回	〔第6章〕 積分法の応用 総合問題演習	・定期考査等	・定期考査等	・授業中の行動観察 ・基礎力テスト等
	評価点	50 点	50 点	50 点
4回		・学習課題等	・学習課題等	・授業中の行動観察 ・学習課題等
	評価点	50 点	50 点	50 点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	〔第3章〕 微分法 第1節 導関数 第2節 いろいろな関数の導関数	56
	5		
	6	〔第4章〕 微分法の応用 第1節 導関数の応用 第2節 速度と近似式	
		第1回考査	
	7	〔第5章〕 積分法 第1節 不定積分 第2節 定積分	
	8		
9	〔第6章〕 積分法の応用	第2回考査	
後期	10	総合問題演習	49
	11		
	12	第3回考査	
	1	総合問題演習	

5 その他

○ 学習する内容のまとめりに、基礎力テストを行います。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	数学C	単位数	1単位
		学年等	3年生普通科普通(理型)

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 大きさや向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統一的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 数学C(数研出版)</p> <p>副教材 新課程チャート式基礎からの数学Ⅲ+C(数研出版) 新課程教科書傍用サクシード数学Ⅲ+C(数研出版) チョイス新標準問題集数学Ⅲ+C(河合出版)(予定)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	大きさや向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察できる。図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統一的・発展的に考察できる。数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現できる。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
評価点	150点	150点	150点

3 評価の計画

考査	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回	〔第3章〕 複素数平面 〔第4章〕 式と曲線 第1節 2次曲線 第2節 媒介変数表示と極座標	・定期考査等	・定期考査等	・授業中の行動観察 ・学習課題 ・基礎力テスト等
	評価点	150点	150点	150点
2回				
	評価点	点	点	点
3回				
	評価点	点	点	点
4回				
	評価点	点	点	点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	〔第3章〕 複素数平面	35
	5	〔第4章〕 式と曲線 第1節 2次曲線 第2節 媒介変数表示と極座標	
	6	◆-----第1回考査	
		◆-----第2回考査	
後期		◆-----第3回考査	
		◆-----第4回考査	

5 その他

○ 学習する内容のまとめりに、基礎力テストを行います。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	数学演習 B	単位数	3単位
		学年等	3年生普通科普通(理科型)

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>既習事項の内容について、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能の育成。</p> <p>(2) 論理的に考察する力、ある事象に着目し、既習の性質などに基づいて判断する力、事象を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、数学のよさを見いだし、数理的に考察する発展構造的な力の育成。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の育成。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 数学 B(数研出版)</p> <p>問題集 入試数学の基礎徹底 I・II・A・B・C (東京出版)</p> <p>新数学スタンダード演習 I・II・A・B・C (東京出版)</p> <p>オリジナルプリント</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<p>数学 I A II BC の各分野において、基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識を身に付けている。</p> <p>事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。</p>	<p>数学 I A II BC の各分野において、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な思考力を身に付けている。</p>	<p>数学 I A II BC の各分野の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。</p>
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

考查	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回	<p>場合の数と確率 2次関数</p> <p>微分法・積分法 数列</p> <p>ベクトル</p>	定期考查等	定期考查等	授業中の行動観察 学習課題等
	評価点	50点	50点	50点
2回	<p>図形と方程式 三角関数</p> <p>指数関数・対数関数 数学と人間の活動</p> <p>統計的な推測</p>	定期考查等	定期考查等	授業中の行動観察 学習課題等
	評価点	50点	50点	50点
3回	<p>総合演習</p>	定期考查等	定期考查等	授業中の行動観察 学習課題等
	評価点	50点	50点	50点
4回	<p>総合演習</p>	学習課題等	学習課題等	授業中の行動観察 学習課題等
	評価点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	「入試数学の基礎徹底」を使用し、例題を中心に解くことで、本質的なところからその有用性について認識し、事象の考察を行う。 第1回考査 「入試数学の基礎徹底」を使用し、演習問題を中心に解くことで、本質的なところから、事象の考察を行う。 第2回考査	56
	5		
	6		
	7		
	8		
後期	9	「新数学スタンダード演習」を使用し、総合的な問題の演習を通じて、教科内容の理解を深めるとともに、発展的な思考ができる実力を養成する。 第3回考査	49
	10		
	11		
	12		
	1		

5 その他

<p>①予習について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必ず解答を見ずに、まず解くこと。(初めて見るような問題に出くわした際も、いかに問題にアプローチしていくかという力が必要である。初めから解答を見ているとそのような力がつかないうえ、内容も定着しない。)解けた問題と解けなかった問題を明確にし、授業で解けなかった問題を確認するようにするとよい。 <p>②復習について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一度答案を整理した後、解答を見ずに答案が書けるようにすること。最初はまねてもよいので、きちっとした答案を作ること。答案は小論文と同じと考えてよい。いかに相手を納得させるかが大切となる。この力は、日頃から訓練してはじめてつくもので、ある日突然力がつくものではない。 ・問題解決にスピードを要することもある。しっかりとした記述力があれば、秋以降からの演習でスピードも十分ついてくる。 <p>③以下のような学習サイクルをつくること。</p> <p style="margin-left: 20px;">→ 予習 (理解できる問題とできない問題の区別)</p> <p style="margin-left: 20px;">↑ ↓</p> <p style="margin-left: 20px;">↑ 授業 (理解できた問題の定着および理解できなかった問題の確認)</p> <p style="margin-left: 20px;">↑ ↓</p> <p style="margin-left: 20px;">↑ 復習 (理解できなかった問題の定着)</p> <p style="margin-left: 20px;">↑ ↓</p> <p style="margin-left: 20px;">← 授業で扱わなかった問題を解く(充実・発展)</p>

年間指導計画表(シラバス)

科目名	数学演習β	単位数	3単位
		学年等	3年生普通科創造表現コース

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>「数学Ⅰ」および「数学Ⅱ」の既習事項の内容について、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能の育成。</p> <p>(2) 論理的に考察する力、ある事象に着目し、既習の性質などに基づいて判断する力、事象を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、数学のよさを見いだし、数理的に考察する発展構造的な力の育成。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の育成。</p>
使用教科書 副教材等	<p>高等学校 数学Ⅱ(数研出版)</p> <p>短期攻略 大学入学共通テスト 数学Ⅰ・Ⅱ 基礎編(改訂版)(駿台文庫)</p> <p>2025共通テスト対策実力完成直前演習数学ⅠⅡ(ラーンズ)</p> <p>オリジナルプリント</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	数学ⅠⅡの各分野において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。数学ⅠⅡの各分野における基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識を身に付けている。	数学ⅠⅡの各分野において、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。	数学ⅠⅡの各分野の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基いて判断しようとする。
評価点	400点	400点	400点

3 評価の計画

考查	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回	数と式・集合と命題、2次関数、図形と計量、データの分析、場合の数と確率、図形の性質	定期考査等	定期考査等	授業中の行動観察 学習課題 授業プリント等
	評価点	100点	100点	100点
2回	数と式・集合と命題、2次関数、図形と計量、データの分析、場合の数と確率、図形の性質	定期考査等	定期考査等	授業中の行動観察 学習課題 授業プリント等
	評価点	100点	100点	100点
3回	総合演習	定期考査等	定期考査等	授業中の行動観察 学習課題 授業プリント等
	評価点	100点	100点	100点
4回	総合演習	学習課題	学習課題	授業中の行動観察 学習課題
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数		
前期	4	数と式・集合と命題 ・数を実数まで拡張する意義や集合と命題に関する基本的な概念を理解できるようにする。 2次関数 ・2次関数とそのグラフについて理解し、2次関数を用いて数量の関係や変化を表現することの有用性を認識する。 図形と計量 ・三角比の意味やその基本的な性質について理解し、三角比を用いた計量の考えの有用性を認識する。	54		
	5	データの分析 ・統計の基本的な考えを用いてデータを整理・分析し傾向を把握できるようにする。			
	6	場合の数と確率 ・場合の数や確率を求めるときの基本的な考え方を事象の考察に活用できるようにする。 図形の性質 ・平面図形や空間図形の性質を事象の考察に活用できるようにする。			
	7	第1回考査 数と式・集合と命題 ・式を多面的にみたり処理したりするとともに、1次不等式を事象の考察に活用できるようにする。 2次関数 ・2次関数とそのグラフを事象の考察に活用できるようにする。			
	8	図形と計量 ・三角比を用いた計量の考えを事象の考察に活用できるようにする。 データの分析 ・統計の基本的な考えを用いてデータを整理・分析し傾向を把握できるようにする。			
	9	場合の数と確率 ・場合の数や確率を求めるときの基本的な考え方を事象の考察に活用できるようにする。 図形の性質 ・平面図形や空間図形の性質を事象の考察に活用できるようにする。			
	10	第2回考査			
	後期	11		総合演習 ・数学Ⅰ・Aの問題演習を通じて、教科の内容理解を深めるとともに、発展的な課題に対応できる実力を養成する。	51
		12		第3回考査	
		1		総合演習 ・数学Ⅰ・Aの問題演習を通じて、教科の内容理解を深めるとともに、発展的な課題に対応できる実力を養成する。	

5 その他

○ 学習課題の定期的な確認を行います。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	物理	単位数	5単位
		学年等	3年生普通科普通(理科型)

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>「物理基礎」との関連を図りながら、物理的な事物・現象を更に深く取り扱い、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 高等学校 物理 (第一学習社)</p> <p>副教材 セミナー物理基礎+物理(第一学習社) 物理重要問題集(数研出版)</p> <p>チェック&演習物理(数研出版)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

考査	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回	第I章 運動とエネルギー 第3節 運動量の保存 第4節 円運動と単振動 第5節 気体の性質と分子の運動	・定期考査等	・定期考査等	・授業中の行動観察 ・実験レポート ・学習課題
	評価点	50点	50点	50点
2回	第III章 電気と磁気 第1節 電場と電位 第2節 電流 第3節 電流と磁場	・定期考査等	・定期考査等	・授業中の行動観察 ・実験レポート ・学習課題
	評価点	50点	50点	50点
3回	第4節 電磁誘導と交流 第IV章 原子 第1節 電子と光 第2節 原子と原子核 終章 物理学が築く未来	・定期考査等	・定期考査等	・授業中の行動観察 ・実験レポート ・学習課題
	評価点	50点	50点	50点
4回	〔問題演習〕	・学習課題等	・学習課題等	・授業中の行動観察 ・学習課題
	評価点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	第Ⅰ章 運動とエネルギー 第3節 運動量の保存	50
	5	①運動量と力積 ②運動量保存の法則 ③反発係数 第4節 円運動と単振動	
	6	①円運動 ②慣性力と遠心力 ③単振動 ④万有引力による運動 第5節 気体の性質と分子の運動	
		①気体の法則 ②気体の分子運動 ③気体の内部エネルギーと仕事 第Ⅲ章 電気と磁気	
		第1節 電場と電位	
	7	①静電気力 ②電場 ③電位 ④コンデンサー	40
	8	第2節 電流 ①電流と抵抗 ②直流回路 ③半導体	
	9	第3節 電流と磁場 ①磁場 ②電流がつくる磁場 ③電流が磁場から受ける力 ④ローレンツ力	
		第2回考査	
後期	10	第4節 電磁誘導と交流 ①電磁誘導 ②自己誘導と相互誘導 ③交流 ④電磁波	35
	11	第Ⅳ章 原子 第1節 電子と光 ①電子 ②光の粒子性 ③X線 ④粒子の波動性 第2節 原子と原子核 ①原子の構造 ②原子核と放射線 ③核反応とエネルギー ④素粒子と宇宙	
	12	終章 物理学が築く未来 第3回考査	
	1	〔問題演習〕「物理基礎」、「物理」で履修した内容の復習	50

5 その他

- 観察や実験による探究活動を行い、科学的に探究する力を育成します。
- 学習課題の定期的な提出があります。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	化学演習	単位数	2単位
		学年等	3年生普通科普通(文科型)

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 高等学校化学基礎(啓林館)</p> <p>副教材 セミナー化学基礎(第一学習社) フォトサイエンス化学図録(数研出版)</p> <p>問題タイプ別 大学入学共通テスト対策問題集 化学基礎 2026(実教出版)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	物質とその変化から問題を見出し、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	物質とその変化に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

考査	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回	〔第1部 物質の構成〕 〔第2部 物質の変化〕	・定期考査等	・定期考査等	・授業中の行動観察 ・学習課題等
	評価点	50点	50点	50点
2回	〔第1部 物質の構成〕 〔第2部 物質の変化〕	・定期考査等	・定期考査等	・授業中の行動観察 ・学習課題等
	評価点	50点	50点	50点
3回	〔第1部 物質の構成〕 〔第2部 物質の変化〕	・定期考査等	・定期考査等	・授業中の行動観察 ・学習課題等
	評価点	50点	50点	50点
4回	〔第1部 物質の構成〕 〔第2部 物質の変化〕	・学習課題等	・学習課題等	・授業中の行動観察 ・学習課題等
	評価点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	〔第1部 物質の構成〕 〔第2部 物質の変化〕 (4月は第2部 第3章 第2節 酸化剤と還元剤、第4節 酸化還元反応の利用を除く。)	20
	5	(5月は第2部 第3章 第4節 酸化還元反応の利用を除く。)	
	6	(6月は第1部、第2部の全ての範囲を学ぶ。) 主に基礎的・基本的な内容の問題演習を行う。	
		◆-----第1回考査	
	7	〔第1部 物質の構成〕 〔第2部 物質の変化〕	
	8	(第1部、第2部の全ての範囲を学ぶ。)	
	9	発展的な内容を含む問題演習を行う。	
		◆-----第2回考査	
後期	10	〔第1部 物質の構成〕 〔第2部 物質の変化〕	14
	11	(第1部、第2部の全ての範囲を学ぶ。) 発展的な内容を中心とする問題演習を行う。	
	12	◆-----第3回考査	
	1	〔第1部 物質の構成〕 〔第2部 物質の変化〕 (第1部、第2部の全ての範囲を学ぶ。) 大学入学共通テストの過去の試験問題演習を中心に行う。	
		◆-----	
		20	

5 その他

- 主体的な問題演習により、1つの方法にとどまらず多様な方法で解答できる考察力と、別の学習内容にも応用可能な思考力を育成します。
- 学習課題の定期的な提出があります。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	化学	単位数	4単位
		学年等	3年生普通科普通(理科型)

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>化学的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、化学的な事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 高等学校化学(啓林館)</p> <p>副教材 セミナー化学基礎+化学(第一学習社) 化学重要問題集(数研出版) フォトサイエンス化学図録(数研出版) 問題タイプ別 大学入学共通テスト対策問題集 化学 2026(実教出版)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	化学の基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。	化学的な事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	化学的な事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評価点	100点	100点	100点

3 評価の計画

考查	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回	[第4部 有機化合物] 第1章 有機化合物の特徴と分類 α 第2章 脂肪族炭化水素 α 第3章 酸素を含む脂肪族化合物 α [第2部 物質の変化と平衡] 第3章 反応速度 β 第4章 化学平衡 β	・定期考査等	・定期考査等	・授業中の行動観察 ・学習課題 ・実験ワークシート
	評価点	50点	50点	50点
2回	[第4部 有機化合物] 第4章 芳香族化合物 α [第5部 高分子化合物] 第1章 高分子化合物 β 第2章 天然高分子化合物 β 第3章 合成高分子化合物 α 終章 化学が果たす役割 α	・定期考査等	・定期考査等	・授業中の行動観察 ・学習課題 ・実験ワークシート
	評価点	50点	50点	50点
3回	[問題演習] [実験]	・定期考査等	・定期考査等	・授業中の行動観察 ・学習課題 ・実験ワークシート
	評価点	50点	50点	50点
4回	[問題演習]	・授業中の行動観察 ・学習課題	・授業中の行動観察 ・学習課題	・授業中の行動観察 ・学習課題
	評価点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数		
前期	4	化学α 〔第4部 有機化合物〕 第1章 有機化合物の特徴と分類 第1節 有機化合物の特徴と分類 第2節 有機化合物の分析 第2章 脂肪族炭化水素 第1節 飽和炭化水素 第2節 不飽和炭化水素	化学β 〔第2部 物質の変化と平衡〕 第3章 反応速度 第1節 反応の速さ 探究活動 化学反応の速さ 第2節 化学反応と触媒	化学α 2	化学β 6
	5	第3章 酸素を含む脂肪族化合物 第1節 アルコールとエーテル 第2節 アルデヒドとケトン	第4章 化学平衡 第1節 化学平衡とその移動	5	14
	6	第3節 カルボン酸 第4節 エステルと油脂	第2節 電離平衡	13	
		◆-----第1回考查			
	7	第4章 芳香族化合物 第1節 芳香族炭化水素 第2節 酸素を含む芳香族化合物 第3節 窒素を含む芳香族化合物 第4節 芳香族化合物の分離	探究活動 沈殿滴定 〔第5部 高分子化合物〕 第1章 高分子化合物 第1節 高分子化合物の分類と特徴 第2章 天然高分子化合物 第2節 タンパク質 第1節 糖類	7	2 14
	8				
	9	〔第5部 高分子化合物〕 第3章 合成高分子化合物 第1節 高分子化合物の合成 第2節 合成繊維 第3節 プラスチック(合成樹脂) 第4節 ゴム 第5節 生活で利用されている 合成樹脂 終章 化学が果たす役割	第3節 核酸	9	
		◆-----第2回考查			
	後期	10	〔問題演習〕「化学基礎」、「化学」で履修した内容の復習(発展的内容を含みます。)		28
11		〔探究活動〕 有機化学、高分子化学を中心に実験を行います。			
12		◆-----第3回考查			
	1	〔問題演習〕「化学基礎」、「化学」で履修した内容の復習		40	

その他

- 授業は2回考查までは、「化学α」、「化学β」(それぞれ2単位)の2展開で行います。3回考查以降は「化学α」、「化学β」の区別なく行います。
- 考查は「化学α」、「化学β」を一括して実施し、評価は「化学α」、「化学β」の評価を総合して行います。
- 観察や実験による探究活動を行い、科学的に探究する力を育成します。
- 学習課題の定期的な提出があります。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	生物演習	単位数	2単位
		学年等	3年生普通科普通(文科型)

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察・実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 高等学校生物基礎(第一学習社)</p> <p>副教材 セミナー生物基礎(第一学習社) スクエア最新図説生物(第一学習社)</p> <p>大学入学共通テスト対策 つかむ生物基礎(浜島書店)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	生物や生物現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	生物や生物現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

考查	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回	〔第1部 生物の特徴〕 〔第2部 ヒトのからだの調節、情報の伝達と体内環境の維持〕	・定期考査等	・定期考査等	・授業中の行動観察 ・学習課題等
	評価点	50点	50点	50点
2回	〔第2部 ヒトのからだの調節〕 〔第3部 生物の多様性と生態系〕	・定期考査等	・定期考査等	・授業中の行動観察 ・学習課題等
	評価点	50点	50点	50点
3回	〔第1部 生物の特徴〕 〔第2部 ヒトのからだの調節〕 〔第3部 生物の多様性と生態系〕	・定期考査等	・定期考査等	・授業中の行動観察 ・学習課題等
	評価点	50点	50点	50点
4回	〔第1部 生物の特徴〕 〔第2部 ヒトのからだの調節〕 〔第3部 生物の多様性と生態系〕	・学習課題等	・学習課題等	・授業中の行動観察 ・学習課題等
	評価点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	〔第1部 生物の特徴〕 〔第2部 ヒトのからだの調節〕	20
	5	(第2部は情報の伝達と体内環境の維持) 主に基礎的・基本的な内容の問題演習を行う。	
	6	◆-----第1回考査	
		〔第2部 ヒトのからだの調節〕 (第2部は情報の伝達と体内環境の維持)	
	7	〔第3部 生物の多様性と生態系〕	
	8	主に基礎的・基本的な内容の問題演習を行う。	
	9	発展的な内容を含む問題演習を行う。	
		◆-----第2回考査	
後期	10	〔第1部 生物の特徴〕 〔第2部 ヒトのからだの調節〕	14
	11	〔第3部 生物の多様性と生態系〕 (第1部、第2部、第3部の全ての範囲を学ぶ。) 発展的な内容を中心とする問題演習を行う。	
	12	◆-----第3回考査	
		〔第1部 生物の特徴〕 〔第2部 ヒトのからだの調節〕 〔第3部 生物の多様性と生態系〕 (第1部、第2部、第3部の全ての範囲を学ぶ。) 大学入学共通テストの過去の試験問題演習を中心に行う。	
	1	◆-----	
		20	

5 その他

- 主体的な問題演習により、1つの方法にとどまらず多様な方法で解答できる考察力と、別の学習内容にも応用可能な思考力を育成します。
- 学習課題の定期的な提出があります。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	生物	単位数	5単位
		学年等	3年生普通科普通(理科型)

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 高等学校生物(第一学習社)</p> <p>副教材 セミナー生物(第一学習社) スクエア最新図説生物(第一学習社)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	生物学の基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	生物や生物現象から問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	生物や生物現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

考查	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回	〔第5章 遺伝情報とその発現〕 〔第6章 遺伝子の発現調節と発生〕 〔第7章 遺伝子を扱う技術とその応用〕	・定期考査等	・定期考査等	・授業中の行動観察 ・実験レポート ・学習課題等
	評価点	50点	50点	50点
2回	〔第8章 動物の反応と行動〕 〔第9章 植物の成長と環境応答〕	・定期考査等	・定期考査等	・授業中の行動観察 ・実験レポート ・学習課題等
	評価点	50点	50点	50点
3回	〔第10章 生態系のしくみと人間の関わり〕	・定期考査等	・定期考査等	・授業中の行動観察 ・実験レポート ・学習課題等
	評価点	50点	50点	50点
4回	第1編から第5編までの全ての範囲	・学習課題等	・学習課題等	・授業中の行動観察 ・学習課題等
	評価点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
前期	4	[第3編] 遺伝情報の発現と発生 第5章 遺伝情報とその発現 第1節 DNAの複製 第2節 遺伝子の発現	15	
	5	第6章 遺伝子の発現調節と発生 第1節 遺伝子の発現調節 第2節 発生と遺伝子の発現		
	6	観察 ウニの受精の観察 第7章 遺伝子を扱う技術とその応用 第1節 遺伝子を扱う技術 第2節 遺伝子を扱う技術の応用	15	
		第1回考査		
	7	[第4編] 生物の環境応答 第8章 動物の反応と行動	15	
	8	第1節 刺激の受容と反応 実験 ヒトの右眼の盲斑		
	9	第2節 動物の行動 第9章 植物の成長と環境応答 第1節 植物と環境 実験 ダイコンの芽ばえがリンゴの果実から受ける影響を調べよう 第2節 植物の一生と植物ホルモン		
			第2回考査	10
	後期	10	[第5編] 生態と環境 第10章 生態系のしくみと人間の関わり 第1節 個体群と生物群集 観察 個体群の成長のようすを観察しよう	20
		11	第2節 生態系の物質生産と消費 第3節 生態系と人間生活 観察 層別刈取法による生産構造図の作成	
		第3回考査		
12			15	
1		(第1編、第2編、第3編、第4編、第5編の全ての範囲を学ぶ。) 大学入学共通テストの過去の試験問題演習を中心に行う。	50	

5 その他

- 観察や実験による探究活動を行い、科学的に探究する力を育成します。
- 学習課題の定期的な提出があります。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	生物基礎	単位数	3単位
		学年等	3年生普通科創造表現コース

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 高等学校生物基礎(第一学習社)</p> <p>副教材 セミナー生物基礎(第一学習社) スクエア最新図説生物(第一学習社)</p> <p>大学入学共通テスト対策 つかむ生物基礎(浜島書店)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	生物や生物現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	生物や生物現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

考查	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回	〔第1章 生物の特徴〕	・定期考查等	・定期考查等	・授業中の行動観察 ・実験レポート ・学習課題等
	評価点	50点	50点	50点
2回	〔第2章 遺伝子とその働き〕 〔第3章 ヒトのからだの調節〕	・定期考查等	・定期考查等	・授業中の行動観察 ・実験レポート ・学習課題等
	評価点	50点	50点	50点
3回	〔第4章 植生と遷移〕 〔第5章 生態系とその保全〕	・定期考查等	・定期考查等	・授業中の行動観察 ・実験レポート ・学習課題等
	評価点	50点	50点	50点
4回	総復習	・学習課題等	・学習課題等	・授業中の行動観察 ・学習課題等
	評価点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	[第1編] 生物の特徴 第1章 生物の特徴 第1節 生物の共通性	
	5	実験・観察 顕微鏡による細胞の観察とマイクロメーターによる測定	15
	6	第2節 生物とエネルギー 実験 酵素カタラーゼの働き	
		◆----- 第1回考査	15
	7	第2章 遺伝子とその働き 第1節 遺伝子の本体とその構造	
	8	実験・観察 DNAの抽出 体細胞分裂の観察と細胞周期 第2節 遺伝情報とタンパク質 探究活動 唾腺染色体の観察	12
	9	[第2編] ヒトのからだの調節 第3章 ヒトのからだの調節 第1節 情報の伝達と体内環境の維持 実験 心拍数の変化の測定 第2節 免疫	
		◆----- 第2回考査	12
	後期	10	[第3編] 生物の多様性と生態系 第4章 植生と遷移 第1節 植生と遷移
11		第2節 バイオーム 第5章 生態系とその保全 第1節 生態系と生物の多様性	11
12		第2節 生態系のバランスと保全	
1		◆----- 第3回考査	10
		(第1編、第2編、第3編の全ての範囲を学ぶ。) 大学入学共通テストの過去の試験問題演習を中心に行う。 ◆-----	30

5 その他

- 観察や実験による探究活動を行い、科学的に探究する力を育成します。
- 学習課題の定期的な提出があります。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	地学演習	単位数	2単位
		学年等	3年生普通科普通(文科型)

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、地学的に探究する能力と態度を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を育成することを目指す。</p> <p>(1) 日常生活や社会との連携を図りながら、地球や地球を取り巻く環境についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを通じて、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 高等学校 地学基礎(啓林館)</p> <p>副教材 セミナー地学基礎(第一学習社) リード Light ノート地学基礎(数研出版) スクエア最新図録地学(第一学習社) ベストフィット地学基礎(実教出版) マーク式基礎問題集地学基礎(河合出版)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	観察、実験などを通して地学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。地学的な事物・現象に関する観察、実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身に付けている。	地学的な事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行うとともに、事象を実証的、論理的に考察したり、分析したりすることにより問題を解決し、総合的・科学的に判断し、それを表現することができる。	地学的な事物・現象に関心や探究心をもち、主体的・意欲的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付け、地学に対する興味・関心を高めている。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

考查	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回	〔第1部〕 固体地球とその活動 〔第2部〕 移り変わる地球	・定期考查等	・定期考查等	・授業中の行動観察 ・学習課題等
	評価点	50点	50点	50点
2回	〔第3部〕 大気と海洋 〔第4部〕 自然との共生	・定期考查等	・定期考查等	・授業中の行動観察 ・学習課題等
	評価点	50点	50点	50点
3回	〔第1部〕 固体地球とその活動 〔第2部〕 移り変わる地球 〔第3部〕 大気と海洋 〔第4部〕 自然との共生	・定期考查等	・定期考查等	・授業中の行動観察 ・学習課題等
	評価点	50点	50点	50点
4回	〔第1部〕 固体地球とその活動 〔第2部〕 移り変わる地球 〔第3部〕 大気と海洋 〔第4部〕 自然との共生	・学習課題等	・学習課題等	・授業中の行動観察 ・学習課題等
	評価点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	〔第1部〕 固体地球とその活動	20
	5	〔第2部〕 移り変わる地球 地球の概観、地球内部の構造、プレートテクトニクスと地球の活動、地震、火山活動と火成岩の形成、地球と生命の進化(先カンブリア時代・顕生代)、地球史の読み方(地層の形成、地層の読み方、地層からわかること)についての基礎的・標準的な問題演習を行う。	
	6		
	6	第1回考査	
	7	〔第3部〕 大気と海洋	
	8	〔第4部〕 自然との共生 大気の構造、大気圏、水と気象、太陽放射、地球のエネルギー収支、大気の大循環、海水の循環、日本の天気、宇宙の誕生、太陽系の誕生、地球環境と人類、地震災害・火山災害、気象災害、災害と社会、人間生活と地球環境の変化についての基礎的・標準的な問題演習を行う。	
	9		
		第2回考査	
後期	10	〔第1部〕 固体地球とその活動	14
	11	〔第2部〕 移り変わる地球 〔第3部〕 大気と海洋 〔第4部〕 自然との共生 第1部～第4部の全範囲について、応用及び発展的な内容を含む問題演習を行う。	
		第3回考査	
	12	〔第1部〕 固体地球とその活動	
	1	〔第2部〕 移り変わる地球 〔第3部〕 大気と海洋 〔第4部〕 自然との共生 第1部～第4部の全範囲について、大学入学共通テストの過去の試験問題演習を中心に行う。	
		20	

5 その他

- 主体的に取り組む問題演習により、思考力・考察力・表現力を高め、自己の課題を見つけ学習がより深まるよう努めながら、様々な課題に対応できる応用力を育成します。
- 学習課題の定期的な提出があります。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	地学演習	単位数	1単位
		学年等	3年生普通科創造表現コース

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、地学的に探究する能力と態度を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を育成することを目指す。</p> <p>(1) 日常生活や社会との連携を図りながら、地球や地球を取り巻く環境についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを通じて、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 高等学校 地学基礎(啓林館)</p> <p>副教材 セミナー地学基礎(第一学習社) リード Light ノート地学基礎(数研出版) スクエア最新図録地学(第一学習社) ベストフィット地学基礎(実教出版) マーク式基礎問題集地学基礎(河合出版)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	観察、実験などを通して地学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。地学的な事物・現象に関する観察、実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身に付けている。	地学的な事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行うとともに、事象を実証的、論理的に考察したり、分析したりすることにより問題を解決し、総合的・科学的に判断し、それを表現することができる。	地学的な事物・現象に関心や探究心をもち、主体的・意欲的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付け、地学に対する興味・関心を高めている。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

考查	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回	〔第1部〕 固体地球とその活動 〔第2部〕 移り変わる地球	・定期考查等	・定期考查等	・授業中の行動観察 ・学習課題等
	評価点	50点	50点	50点
2回	〔第3部〕 大気と海洋 〔第4部〕 自然との共生	・定期考查等	・定期考查等	・授業中の行動観察 ・学習課題等
	評価点	50点	50点	50点
3回	〔第1部〕 固体地球とその活動 〔第2部〕 移り変わる地球 〔第3部〕 大気と海洋 〔第4部〕 自然との共生	・定期考查等	・定期考查等	・授業中の行動観察 ・学習課題等
	評価点	50点	50点	50点
4回	〔第1部〕 固体地球とその活動 〔第2部〕 移り変わる地球 〔第3部〕 大気と海洋 〔第4部〕 自然との共生	・学習課題等	・学習課題等	・授業中の行動観察 ・学習課題等
	評価点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	〔第1部〕 固体地球とその活動	10
	5	〔第2部〕 移り変わる地球 地球の概観、地球内部の構造、プレートテクトニクスと地球の活動、地震、火山活動と火成岩の形成、地球と生命の進化(先カンブリア時代・顕生代)、地球史の読み方(地層の形成、地層の読み方、地層からわかること)についての基礎的・標準的な問題演習を行う。	
	6		
	6	第1回考査	
	7	〔第3部〕 大気と海洋	
	8	〔第4部〕 自然との共生 大気の構造、大気圏、水と気象、太陽放射、地球のエネルギー収支、大気の大循環、海水の循環、日本の天気、宇宙の誕生、太陽系の誕生、地球環境と人類、地震災害・火山災害、気象災害、災害と社会、人間生活と地球環境の変化についての基礎的・標準的な問題演習を行う。	
	9		
		第2回考査	
後期	10	〔第1部〕 固体地球とその活動	7
	11	〔第2部〕 移り変わる地球 〔第3部〕 大気と海洋 〔第4部〕 自然との共生 第1部～第4部の全範囲について、応用及び発展的な内容を含む問題演習を行う。	
	12		
		第3回考査	
	1	〔第1部〕 固体地球とその活動 〔第2部〕 移り変わる地球 〔第3部〕 大気と海洋 〔第4部〕 自然との共生 第1部～第4部の全範囲について、大学入試共通テストの過去の試験問題演習を中心に行う。	
		10	

5 その他

- 主体的に取り組む問題演習により、思考力・考察力・表現力を高め、自己の課題を見つけ学習がより深まるよう努めながら、様々な課題に対応できる応用力を育成します。
- 学習課題の定期的な提出があります。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	保健体育 体育	単位数	2単位
		学年等	3年生

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や 仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	本校体育実技用ファイル ステップアップ高校スポーツ(大修館) 新高等保健体育 (大修館)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を身に付けている。
評価点	400点	400点	400点

3 評価の計画

考査	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回	オリエンテーション 体づくり運動 選択Ⅰ 球技, ダンスから選択 体育理論	スキルテスト ルールテスト等 小テスト2回	ファイルの記述分析 授業中の行動観察	授業への参加状況 授業中の行動観察
	評価点	100点	100点	100点
2回	選択Ⅱ 陸上競技, 器械運動, 水泳, 武道から選択	スキルテスト ルールテスト等	ファイルの記述分析 授業中の行動観察	授業への参加状況 授業中の行動観察
	評価点	100点	100点	100点
3回	選択Ⅲ 球技から選択	スキルテスト ルールテスト等	ファイルの記述分析 授業中の行動観察	授業への参加状況 授業中の行動観察
	評価点	100点	100点	100点
4回	体育理論 選択Ⅲ	小テスト2回 スキルテスト ルールテスト等	ファイルの記述分析 授業中の行動観察	授業への参加状況 授業中の行動観察
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	オリエンテーション 体づくり運動(集団行動, トレーニング, ラジオ体操等)	2
	5	選択Ⅰ 球技, ダンスから選択	14
	6	体育理論 豊かなスポーツライフの設計 「生涯スポーツの見方・考え方」「ライフスタイルとスポーツの楽しみ方」	2
		◆-----第1回考査	
	7	選択Ⅱ 陸上競技, 器械運動, 水泳, 武道から選択	12
	8	体づくり運動	2
	9	選択Ⅱ ◆-----第2回考査	6
	後期	10	選択Ⅲ 球技から選択
11			
12		◆-----第3回考査	
		体育理論 豊かなスポーツライフの設計 「スポーツ推進のための施策と課題」「スポーツで未来を創る」	2
1		選択Ⅲ	14
2			
3			

5 その他

- ・各種目の積極的な参加と運動の特性を理解し, 自ら考え, 工夫して取り組み, ゲームなどを楽しめるようになってほしい。
- ・自分の体力を知り, 自己の体力の向上に何が必要か課題意識を持ち, 具体的な目標設定ができるようになってほしい。
- ・運動技能の習得だけでなく, 準備や後片付けなど協力共同の場面で積極的に行動してほしい。
- ・安全に配慮し, 互いが協力しながら楽しく授業に参加してほしい。
- ・授業を休まない。また, 見学をするときは, 授業担当者に事前に申し出て, 見学ノートを提出する。
- ・体操服を忘れない。また, 体操服をきちんと着用する。
- ・授業開始時間を守る。(着替えを迅速にする。)

年間指導計画表(シラバス)

科目名	音楽表現	単位数	2単位
		学年等	3年生普通科普通(文科型)

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(3) 主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	教科書 MOUSA1(教育芸術社)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について深く理解するとともに、創意工夫を生かした個性豊かな音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていこうとしている。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

考查	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回	楽典 音程 ソルフェージュ 単旋律・二声体聴音 調号3つまでの視唱	・実技テスト	・授業ノート	・行動観察 ・授業ノート
	評価点	50点	50点	50点
2回	楽典 音階 ソルフェージュ 四声体聴音 調号5つまでの視唱	・実技テスト	・授業ノート	・行動観察 ・授業ノート
	評価点	50点	50点	50点
3回	楽典 和音 作曲	・実技テスト	・授業ノート	・行動観察 ・授業ノート
	評価点	50点	50点	50点
4回	音楽史 西洋と日本 作曲	・作品	・課題レポート	・行動観察 ・授業ノート
	評価点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	〔楽典〕 基礎的な内容の確認と音程 譜表と音名・音符と休符・リズムと拍子の確認	10
	5	音程に関する問題演習	10
	6	〔ソルフェージュ〕 基礎的な技能の定着 (聴音) 単旋律8小節、二声体聴音 (視唱) 調号3つまでの長調・短調、正確なリズムの練習 第1回考査	
	7	〔楽典〕 音階 長音階と短音階、調判定の問題演習	8
	8	〔ソルフェージュ〕 四声体聴音、発展的な視唱 (聴音) 四声体8小節	8
	9	(視唱) 調号5つまでの長調・短調、5度・6度・7度の跳躍音程の練習 第2回考査	
	後期	10	〔楽典〕 和音 三和音及び七和音の分析、伴奏付け
11		〔作曲〕 ソナタ形式による作曲 楽典の内容を総合的に活用した作品制作	7
12		第3回考査	
		〔音楽史〕 西洋と日本 西洋と日本の音楽史及び作曲家とその代表作	10
1		〔作曲〕 ソナタ形式による楽曲制作	10

5 その他

○それぞれの回で実技テストの実施またはレポートの提出があります。

○後期では前期の内容を総合的に活用し作曲を行います。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	造形演習	単位数	2単位
		学年等	3年生普通科普通(文系)

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 高校生の美術1(日本文教出版)</p> <p>副教材 美術 表現と鑑賞(日本造形教育研究会/開隆堂出版株式会社) 実技用具など</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めているとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すために必要となる、基本的な美術表現の技能を身に付けている。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想をすることができ、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めようとしている。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、美に対する感動や、自己の考えを表現しようとしている。また、美術と生活や社会、自己との繋がりを感じ、それらを創造していく態度をもっている。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回	・静物デッサンⅠ ・平面構成Ⅰ	制作作品など	制作作品など	・授業中の行動観察 ・授業ワークシート
	評価点 150	50点	50点	50点
2回	・立体構成(模刻) ・静物デッサンⅡ	制作作品など	制作作品など	・授業中の行動観察 ・授業ワークシート
	評価点 150	50点	50点	50点
3回	・平面構成Ⅱ ・立体構成(イメージ)	制作作品など	制作作品など	・授業中の行動観察 ・授業ワークシート
	評価点 150	50点	50点	50点
4回	・テーマ制作	制作作品など	制作作品など	・授業中の行動観察 ・授業ワークシート
	評価点 150	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
前期	4	① 【静物デッサンⅠ】観察力を養い、形体への理解を深める。	10	
	5	・基本的な形体、構成などの表現について学ぶ。		
	6	② 【平面構成Ⅰ】アクリルガッシュの技法と表現を学ぶ。	10	
		・アクリルガッシュの技法について学ぶ。 ・平面構成の表現について知る。		
		◆-----第1回考査		
	7	③ 【立体構成(模刻)】立体構成の技法と表現を学ぶ。	8	
	8	・道具の使い方を理解する。 ・塑像の表現を学ぶ。		
	9	④ 【静物デッサンⅡ】観察力を養い、形体への理解を深める。	8	
		・形体、構成などの表現について学ぶ。		
			◆-----第2回考査	
後期	10	⑤ 【平面構成Ⅱ】平面構成の技法と表現を学ぶ。	7	
	11	・様々な平面構成について知る。 ・モチーフを使った平面構成について学ぶ。		
	12	⑥ 【立体構成(イメージ)】立体構成の技法と表現を学ぶ。	7	
		・様々な立体構成について知る。 ・イメージを元にした立体構成の考え方について学ぶ。		
		◆-----第3回考査		
	1	⑦ 【テーマ制作】各自のテーマに基づいた絵画表現について学ぶ。	20	
		・テーマ、表現方法、モチーフの選定について学ぶ。 ・制作意図に応じた表現方法の工夫について考える。 ・表現材料の選定や技法の活用について理解する。		
			◆-----	

5 その他

- 1年間を通して今後の表現活動の基盤となる描写力・観察力などの基礎的な力を、実技演習を通じて育成します。
- 各単元や授業でワークシートの提出を求めます。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	クラフトデザイン	単位数	4単位
		学年等	3年生普通科創造表現コース

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 高校生の美術1(日本文教出版)</p> <p>副教材 美術 表現と鑑賞(日本造形教育研究会/開隆堂出版株式会社) 実技用具など</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めているとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すために必要となる、基本的な美術表現の技能を身に付けている。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想をすることができ、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めようとしている。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、美に対する感動や、自己の考えを表現しようとしている。また、美術と生活や社会、自己との繋がりを感じ、それらを創造していく態度をもっている。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回	・工芸概論、制作環境の研究と整備 ・工芸技法の研究 ・基礎実習Ⅰ	制作作品など	制作作品など	・授業中の行動観察 ・授業ワークシート
	評価点 150	50点	50点	50点
2回	・基礎実習Ⅱ ・基礎実習Ⅲ	制作作品など	制作作品など	・授業中の行動観察 ・授業ワークシート
	評価点 150	50点	50点	50点
3回	・企画案検討 ・応用実習Ⅰ	制作作品など	制作作品など	・授業中の行動観察 ・授業ワークシート
	評価点 150	50点	50点	50点
4回	・応用実習Ⅰ ・応用実習Ⅱ(展示と鑑賞)	制作作品など	制作作品など	・授業中の行動観察 ・授業ワークシート
	評価点 150	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	① 【工芸概論、制作環境の研究と整備】 ・使いやすさと美しさの融合を理解する。 ・安全に作業する環境と心構えを理解する。	8
	5	② 【工芸技法の研究】 ・各種の工芸技法について知る。	12
	6	③ 【基礎実習Ⅰ】 ・鍛金技法・彫金技法・織技法のうちいずれかを選択して、制作基礎を学ぶ。	20
		◆-----第1回考査	
	7	④ 【基礎実習Ⅱ】	16
	8	・七宝技法・木工技法のうちいずれかを選択して、制作基礎を学ぶ。	
	9	⑤ 【基礎実習Ⅲ】 ・染色技法・漆技法・ステンドグラス技法のうちいずれかを選択して、制作基礎を学ぶ。	16
		◆-----第2回考査	
後期	10	① 【企画案検討】 ・これまで学んだ基礎実習を基に应用制作のための作品を企画検討する。 ・目的やテーマに合った素材と技法を選択する。	8
	11	② 【応用実習Ⅰ】	20
	12	・素材を生かした制作ができる。 ・形の美しさや使用の仕方に配慮した成形ができる。	
		◆-----第3回考査	
	1	⑧ 【応用実習Ⅰ】 ・素材を生かした制作ができる。 ・形の美しさや使用の仕方に配慮した成形ができる。	25
	⑨ 【応用実習Ⅱ】 ・見せ方と鑑賞方法について学ぶ。	15	
	◆-----		

5 その他

- 1年間を通して今後の表現活動の基盤となる描写力・観察力などの基礎的な力を、実技演習を通じて育成します。
- 各単元や授業でワークシートの提出を求めます。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	ビジュアルデザイン	単位数	4単位
		学年等	3年生普通科創造表現コース

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 高校生の美術1(日本文教出版)</p> <p>副教材 美術 表現と鑑賞(日本造形教育研究会/開隆堂出版株式会社) 実技用具等</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めているとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すために必要となる、基本的な美術表現の技能を身に付けている。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想をすることができ、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めようとしている。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、美に対する感動や、自己の考えを表現しようとしている。また、美術と生活や社会、自己との繋がりを感じ、それらを創造していく態度をもっている。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回	ビジュアルデザイン概論 ビジュアルデザイン演習Ⅰ(平面表現)	制作作品等	制作作品等	・授業中の行動観察 ・授業ワークシート
	評価点 150	50点	50点	50点
2回	ビジュアルデザイン演習Ⅱ(平面表現) ビジュアルデザイン演習Ⅲ(立体表現)	制作作品等	制作作品等	・授業中の行動観察 ・授業ワークシート
	評価点 150	50点	50点	50点
3回	ビジュアルデザインテーマ制作	制作作品等	制作作品等	・授業中の行動観察 ・授業ワークシート
	評価点 150	50点	50点	50点
4回	ビジュアルデザインテーマ制作	制作作品等	制作作品等	・授業中の行動観察 ・授業ワークシート
	評価点 150	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
前期	4	⑥ ビジュアルデザイン概論 ・デザインの果たす役割について学ぶ。 ・デザインにおける視覚的な伝達効果について学ぶ。(平面)	40	
	5	⑦ ビジュアルデザイン演習Ⅰ(平面表現) ・アクリル絵の具を用いた表現について学ぶ。 ・アクリル絵の具の特性と扱い方について学ぶ。 ・平面表現の基本について学ぶ。	第1回考査	
	6			
	7			
	8	⑧ ビジュアルデザイン演習Ⅱ(平面表現) ・平面表現と画面構成の基本について学ぶ。 ・イメージやモチーフの表現について学ぶ。(色彩・形体・材質・機能) ・画面構成による視覚効果について学ぶ。(リズム・バランス・造形・配色)	32	
	9	⑨ ビジュアルデザイン演習Ⅲ(立体表現) ・立体造形と空間表現の基本について学ぶ。 ・材料の特性を活かした表現効果について学ぶ。 ・形体の性質と空間効果について学ぶ。(リズム・バランス・造形・陰影)		
	9			
	後期	10	⑤ ビジュアルデザインテーマ制作(構想、制作) ・テーマに基づいたデザイン表現について探究する。 ・自然、自己、社会を通じた主題の設定について探究する。 ・制作意図に応じた表現方法の工夫について学ぶ。 ・表現材料や技法の活用について学ぶ。	28
		11		
12		第3回考査		
1				

5 その他

- 1年間を通して今後の表現活動の基盤となる描写力・観察力などの基礎的な力を、実技演習を通じて育成します。
- 各単元や授業でワークシートの提出を求めます。
- 第3回考査時点では、テーマ制作の構想内容と制作状況を評価します。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	絵画表現	単位数	2単位
		学年等	3年生普通科創造表現コース

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 高校生の美術1(日本文教出版)</p> <p>副教材 美術 表現と鑑賞(日本造形教育研究会/開隆堂出版株式会社) 実技用具等</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めているとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すために必要となる、基本的な美術表現の技能を身に付けている。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想をすることができ、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めようとしている。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、美に対する感動や、自己の考えを表現しようとしている。また、美術と生活や社会、自己との繋がりを感じ、それらを創造していく態度をもっている。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回	概論・技法演習 色彩構成	制作作品等	制作作品等	・授業中の行動観察 ・授業ワークシート
	評価点 150	50点	50点	50点
2回	テーマをもとにした絵画制作	制作作品等	制作作品等	・授業中の行動観察 ・授業ワークシート
	評価点 150	50点	50点	50点
3回	課題別演習 I	制作作品等	制作作品等	・授業中の行動観察 ・授業ワークシート
	評価点 150	50点	50点	50点
4回	課題別演習 II	制作作品等	制作作品等	・授業中の行動観察 ・授業ワークシート
	評価点 150	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
前期	4	① 概論・技法演習 ・アクリルガッシュや透明水彩を用いた技法演習を行う。 ・技法演習をもとにした作品を制作する。	10	
	5	② 色彩構成 ・配色による視覚効果について学ぶ。	10	
	6	・構図や描画方法による視覚効果について学ぶ。 ◆-----第1回考査		
	7	③ テーマをもとにした絵画制作 ・テーマの解釈、制作意図・画面構成の発想について学ぶ。	16	
	8	・構成による視覚効果(リズム・バランス)について学ぶ。		
	9	・画面構成の工夫(造形・配色)について学ぶ。 ・質感表現と空間表現について学ぶ。 ◆-----第2回考査		
	10	④ 課題別演習Ⅰ ・各自がテーマを設定し、これまでの表現技法を活用した作品を制作する。 ・課題に応じた演習内容の設定を行う。		14
	後期	11	・効果的な画面構成について学ぶ。 ・応用表現の研究を行う。 ◆-----第3回考査	20
		12	⑤ 課題別演習Ⅱ ・各自がテーマを設定し、これまでの表現技法を活用した作品を制作する。 ・課題に応じた演習内容の設定を行う。	
1		・効果的な画面構成について学ぶ。 ・応用表現の研究を行う。 ◆-----		

5 その他

- 1年間を通して今後の表現活動の基盤となる描写力・観察力などの基礎的な力を、実技演習を通じて育成します。
- 各単元や授業でワークシートの提出を求めます。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	情報メディアデザイン	単位数	4単位
		学年等	3年生普通科創造表現コース

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 高校生の美術1(日本文教出版)</p> <p>副教材 美術 表現と鑑賞(日本造形教育研究会/開隆堂出版株式会社) 実技用具等</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めているとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すために必要となる、基本的な美術表現の技能を身に付けている。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想をすることができ、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めようとしている。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、美に対する感動や、自己の考えを表現しようとしている。また、美術と生活や社会、自己との繋がりを感じ、それらを創造していく態度をもっている。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回	情報メディアデザイン概論 情報メディアデザイン演習Ⅰ(平面表現) 情報メディアデザイン演習Ⅱ(立体表現)	制作作品等	制作作品等	・授業中の行動観察 ・授業ワークシート
	評価点 150	50点	50点	50点
2回	情報メディアデザイン演習Ⅱ(立体表現) 情報メディアデザイン演習Ⅲ(テーマ課題)	制作作品等	制作作品等	・授業中の行動観察 ・授業ワークシート
	評価点 150	50点	50点	50点
3回	情報メディアデザインテーマ制作	制作作品等	制作作品等	・授業中の行動観察 ・授業ワークシート
	評価点 150	50点	50点	50点
4回	情報メディアデザインテーマ制作	制作作品等	制作作品等	・授業中の行動観察 ・授業ワークシート
	評価点 150	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	⑩ 情報メディアデザイン概論 ・情報メディアデザインの基礎と、コンピュータを使った表現について学ぶ。 ・コンピュータ教室の利用とメディア機器の使用方法について理解する。	40
	5	⑪ 情報メディアデザイン演習Ⅰ(平面表現) ・コンピュータとアプリケーションの基本操作について学ぶ。 ・グラフィック系アプリケーションの特性について学ぶ。 ・画像データの特性と編集方法について学ぶ。 ・周辺機器やプリンター(インクジェット・レーザー・3D)の特性について学ぶ。	32
	6		
	7		
	8	⑫ 情報メディアデザイン演習Ⅱ(立体表現) ・情報メディアデザインの役割と表現について学ぶ。 ・グラフィックデザインにおけるレイアウトの基本について学ぶ。 ・イラストレーション、画像、フォントの効果について学ぶ。	第1回考査
9	⑬ 情報メディアデザイン演習Ⅲ(テーマ課題) ・テーマに基づき、情報メディアデザインの表現について深く学ぶ。 ・制作意図に応じた表現方法の工夫について学ぶ。 ・表現材料や技法の活用について学ぶ。 ◆-----第2回考査	第2回考査	
後期	10	⑭ 情報メディアデザインテーマ制作 ・テーマに基づいた映像メディア表現について探究する。 ・自然、自己、社会を通じた主題の設定について探究する。 ・制作意図に応じた表現方法の工夫について学ぶ。 ・表現材料や技法の活用について学ぶ。 ◆-----第3回考査	28
	11		第3回考査
	12		40
	1		◆-----

5 その他

- 1年間を通して今後の表現活動の基盤となる描写力・観察力などの基礎的な力を、実技演習を通じて育成します。
- 各単元や授業でワークシートの提出を求めます。
- 第3回考査時点では、テーマ制作の構想内容と制作状況を評価します。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	素描	単位数	4単位
		学年等	3年生普通科創造表現コース

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 高校生の美術1(日本文教出版)</p> <p>副教材 美術 表現と鑑賞(日本造形教育研究会/開隆堂出版株式会社) 実技用具等</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めているとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すために必要となる、基本的な美術表現の技能を身に付けている。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想をすることができ、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めようとしている。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、美に対する感動や、自己の考えを表現しようとしている。また、美術と生活や社会、自己との繋がりを感じ、それらを創造していく態度をもっている。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回	・素描実習Ⅰ(幾何形体) ・素描実習Ⅱ(石膏) ・素描実習Ⅲ(静物)	制作作品等	制作作品等	・授業中の行動観察 ・授業ワークシート
	評価点 150	50点	50点	50点
2回	・素描実習Ⅳ(石膏応用) ・素描実習Ⅴ(テーマ制作)	制作作品等	制作作品等	・授業中の行動観察 ・授業ワークシート
	評価点 150	50点	50点	50点
3回	・素描実習Ⅴ(テーマ制作)	制作作品等	制作作品等	・授業中の行動観察 ・授業ワークシート
	評価点 150	50点	50点	50点
4回	・素描実習Ⅵ(人物) ・素描実習Ⅶ(テーマ制作)	制作作品等	制作作品等	・授業中の行動観察 ・授業ワークシート
	評価点 150	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	⑮ 素描実習Ⅰ(幾何形体) ・鉛筆を用いて、形体把握を中心に素描表現について学ぶ。	10
	5	⑯ 素描実習Ⅱ(石膏) ・鉛筆や木炭など素描画材の特性を活かした描画法を学ぶ。 ・フォルム、ムーブメントについて造形的な理解を得る。	15
	6	⑰ 素描実習Ⅲ(静物) ・画面の構成や空間把握に基づいた素描表現について学ぶ。	15
	7	◆-----第1回考査	
	8	⑱ 素描実習Ⅳ(石膏応用) ・石膏デッサンにおける画面の構成力を高めると共に、像の持つ量感や質感の表現方法を学ぶ。	20
	9	⑲ 素描実習Ⅴ(テーマ制作) ・制作の意図に基づいたモチーフや構図の選定など構成力を高める。 ・素描画材の応用表現の研究を行う。 ◆-----第2回考査	12
後期	10 11	⑳ 素描実習Ⅴ(テーマ制作) ・制作の意図に基づいたモチーフや構図の選定など構成力を高める。 ・素描画材の応用表現の研究を行う。 ◆-----第3回考査	28
	12	21 素描実習Ⅵ(人物) ・人体をモデルに人体の比率やバランス、構造などを理解する。 ・鉛筆及び木炭を用いた速写描法を学ぶ。	20
	1	22 素描実習Ⅶ(テーマ制作) ・制作の意図に基づいたモチーフや構図の選定など構成力を高める。 ・素描画材の応用表現の研究を行う。 ◆-----	20

5 その他

- 1年間を通して今後の表現活動の基盤となる描写力・観察力などの基礎的な力を、実技演習を通じて育成します。
- 各単元や授業でワークシートの提出を求めます。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	彫刻	単位数	4単位
		学年等	3年生普通科創造表現コース

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 高校生の美術1(日本文教出版)</p> <p>副教材 美術 表現と鑑賞(日本造形教育研究会/開隆堂出版株式会社) 実技用具等</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めているとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すために必要となる、基本的な美術表現の技能を身に付けている。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想をすることができ、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めようとしている。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、美に対する感動や、自己の考えを表現しようとしている。また、美術と生活や社会、自己との繋がりを感じ、それらを創造していく態度をもっている。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回	・彫刻概論 ・美術解剖学 ・人物素描	制作作品等	制作作品等	・授業中の行動観察 ・授業ワークシート
	評価点 150	50点	50点	50点
2回	・基礎表現課題Ⅰ	制作作品等	制作作品等	・授業中の行動観察 ・授業ワークシート
	評価点 150	50点	50点	50点
3回	・基礎表現課題Ⅱ	制作作品等	制作作品等	・授業中の行動観察 ・授業ワークシート
	評価点 150	50点	50点	50点
4回	・卒業制作(テーマ制作)	制作作品等	制作作品等	・授業中の行動観察 ・授業ワークシート
	評価点 150	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
前期	4	23 彫刻概論 ・彫刻史を中心に塑造と彫造それぞれの表現について理解を深め、 彫刻を学ぶ上での土台となる基礎を学ぶ。	10	
	5	24 美術解剖学 ・古代彫刻をモチーフに人体(頭部)の構造を理解し、立体作品の制作に必要な人体の 構造の理解を深める。	15	
	6	25 人物素描 ・人物モデルを観察し、美術解剖学での学びを表現に活かす ・鉛筆、木炭の基礎的な造形技法を学ぶ。	15	
		第1回考査		
	7	26 基礎表現課題Ⅰ ・木彫表現における素材と表現との関わりを理解し、造形力や構成力を高める。	32	
	8	・木材の持つ素材観、基本的な造形技術について学ぶ。		
	9	第2回考査		
	後期	10	27 基礎表現課題Ⅱ ・空間表現における素材と表現との関わりを理解し、造形力や構成力を高める。 ・粘土の素材観、基本的な造形技術について学ぶ。	28
			第3回考査	
	11 1	28 卒業制作(テーマ制作) ・多様な表現形式の特性を活かし、自己の考えを創造的に表現する力を養う。 ・自身の作品について分かりやすく説明するためのプレゼンテーション能力を養う。	40	

5 その他

- 1年間を通して今後の表現活動の基盤となる描写力・観察力などの基礎的な力を、実技演習を通じて育成します。
- 各単元や授業でワークシートの提出を求めます。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	陶芸	単位数	4 単位
		学年等	3年生普通科創造表現コース

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 高校生の美術1(日本文教出版)</p> <p>副教材 美術 表現と鑑賞(日本造形教育研究会/開隆堂出版株式会社) 実技用具など</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めているとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すために必要となる、基本的な美術表現の技能を身に付けている。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想をすることができ、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めようとしている。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、美に対する感動や、自己の考えを表現しようとしている。また、美術と生活や社会、自己との繋がりを感じ、それらを創造していく態度をもっている。
評価点	200 点	200 点	200 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 回	・陶芸概論、制作環境の研究と整備 ・陶芸実習Ⅰ(土と練) ・陶芸実習Ⅱ(陶芸技法)	制作作品など	制作作品など	・授業中の行動観察 ・授業ワークシート
	評価点 150	50 点	50 点	50 点
2 回	・陶芸実習Ⅲ(乾燥と焼成) ・陶芸実習Ⅳ(施釉と本焼) ・陶芸実習Ⅴ(応用制作)	制作作品など	制作作品など	・授業中の行動観察 ・授業ワークシート
	評価点 150	50 点	50 点	50 点
3 回	・陶芸実習Ⅵ(応用制作)	制作作品など	制作作品など	・授業中の行動観察 ・授業ワークシート
	評価点 150	50 点	50 点	50 点
4 回	・陶芸実習Ⅶ(細密造形) ・陶芸実習Ⅷ(展示と鑑賞)	制作作品など	制作作品など	・授業中の行動観察 ・授業ワークシート
	評価点 150	50 点	50 点	50 点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
前期	4	⑤ 【陶芸概論、制作環境の研究と整備】	5	
	5	・使いやすさと美しさの融合を理解する。		
	6	⑥ 【陶芸実習Ⅰ(土と練)】	10	
		・陶土と磁土について知る。		
		・土練の基本を学ぶ。		
		⑦ 【陶芸実習Ⅱ(陶芸技法)】	20	
		・手びねり・板づくり・轆轤づくりの基本を学ぶ。		
	7	⑧ 【陶芸実習Ⅲ(乾燥と焼成)】	5	
	8	・制作物の乾燥方法と不具合について学ぶ。		
		・素焼きの窯詰の手順と注意点について学ぶ。		
		第1回考査		
		◆		
		⑨ 【陶芸実習Ⅳ(施釉と本焼)】	10	
		・釉薬の特性と施釉の技法、絵付けの技法について学ぶ。		
		・本焼きの窯詰の手順と注意点について学ぶ。		
9	⑩ 【陶芸実習Ⅴ(応用制作)】	22		
		・目的に合った土を選択できる。		
		・土や釉薬の特性を生かした表現ができる。		
		・形の美しさを追求することができる。		
		・乾燥の方法と養生の仕方について学ぶ。		
			第2回考査	
		◆		
後期	10	⑦ 【陶芸実習Ⅵ(応用制作)】	28	
	11	・目的に合った土を選択できる。		
	12	・土や釉薬の特性を生かした表現ができる。		
		・形の美しさを追求することができる。		
		・乾燥の方法と養生の仕方について学ぶ。		
			第3回考査	
		◆		
		⑧ 【陶芸実習Ⅶ(細密造形)】	30	
		・土や釉薬の特性を生かした表現をする。		
		・形の美しさを追求することができる。		
1	⑨ 【陶芸実習Ⅷ(展示と鑑賞)】	10		
		・見せ方と鑑賞方法について学ぶ。		
			◆	

5 その他

- 1年間を通して今後の表現活動の基盤となる描写力・観察力などの基礎的な力を、実技演習を通じて育成します。
- 各単元や授業でワークシートの提出を求めます。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	日本画	単位数	4単位
		学年等	3年生普通科創造表現コース

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 高校生の美術1(日本文教出版)</p> <p>副教材 美術 表現と鑑賞(日本造形教育研究会/開隆堂出版株式会社) 実技用具等</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めているとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すために必要となる、基本的な美術表現の技能を身に付けている。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想をすることができ、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めようとしている。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、美に対する感動や、自己の考えを表現しようとしている。また、美術と生活や社会、自己との繋がりを感じ、それらを創造していく態度をもっている。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回	植物着彩(水彩)	制作作品等	制作作品等	・授業中の行動観察 ・授業ワークシート
	評価点 150	50点	50点	50点
2回	日本画実制作Ⅰ(静物画)	制作作品等	制作作品等	・授業中の行動観察 ・授業ワークシート
	評価点 150	50点	50点	50点
3回	人物素描(鉛筆)	制作作品等	制作作品等	・授業中の行動観察 ・授業ワークシート
	評価点 150	50点	50点	50点
4回	日本画実制作Ⅱ(人物画)	制作作品等	制作作品等	・授業中の行動観察 ・授業ワークシート
	評価点 150	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	29 植物着彩(水彩) ・着彩道具の使い分けと表現効果について学ぶ。 ・構図のとり方や描画の方法について学ぶ。 ・下図による構図を研究する。	第1回考査
	5		
	6		
	7	30 日本画実制作 I (静物画) ・日本画の描画方法やその歴史、成り立ちなどを学ぶ。 ・岩絵具、水干絵具による日本画の技法と表現を学ぶ。 ・膠の使用方法について学ぶ。 ・用具の使用方法について学ぶ。	第2回考査
8			
9			
後期	10	31 人物素描(鉛筆) ・人物をモチーフとした鉛筆描写を学ぶ。 ・人体骨格の確認と構図について研究する。 ・人体の比率やバランスの取り方について学ぶ。 ・人体の持つ質感、量感を追求する。	第3回考査
	11		
	12		
	1	32 日本画実制作 II (人物画) ・授業で実践した技法・描画材を応用し、人物画の日本画制作を行う。 ・画面内でのモチーフの入り方、構図について研究する。 ・岩絵具、水干絵具による日本画の技法の探求をする。 ・創造的な自己表現について研究する。	40

5 その他

- 1年間を通して今後の表現活動の基盤となる描写力・観察力などの基礎的な力を、実技演習を通じて育成します。
- 各単元や授業でワークシートの提出を求めます。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	美術史	単位数	2単位
		学年等	3年生普通科創造表現コース

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 高校生の美術1(日本文教出版)</p> <p>副教材 美術 表現と鑑賞(日本造形教育研究会/開隆堂出版株式会社) 実技用具等</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めているとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すために必要となる、基本的な美術表現の技能を身に付けている。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想をすることができ、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めようとしている。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、美に対する感動や、自己の考えを表現しようとしている。また、美術と生活や社会、自己との繋がりを感じ、それらを創造していく態度をもっている。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回	・古代文明 ・ローマ美術 ・中世の美術	定期考査等	定期考査等	・授業中の行動観察 ・授業ワークシート
	評価点 150	50点	50点	50点
2回	・ルネサンス ・バロックとロココ	課題レポート等	課題レポート等	・授業中の行動観察 ・授業ワークシート
	評価点 150	50点	50点	50点
3回	・近代美術 ・現代美術	課題レポート等	課題レポート等	・授業中の行動観察 ・授業ワークシート
	評価点 150	50点	50点	50点
4回	・日本美術史 ・卒業制作(テーマ制作)	制作作品等	制作作品等	・授業中の行動観察 ・授業ワークシート
	評価点 150	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	33 古代文明 ・古代都市の誕生と文化の発展について学び、美術における地域性や多様性について理解を深める。	6
	5	34 ローマ美術 ・ローマ建築を中心にローマにおける美術の在り方を学ぶ。	6
	6	35 中世の美術 ・キリスト教美術を中心に美術とキリスト教との関係性を理解し、鑑賞を通してキリスト教美術の造形的な理解を深める。	8
		◆-----第1回考査	
	7	36 ルネサンス	8
	8	・ルネサンス期の自然と人間性の目覚めについて学び、発展した表現技法との関連を理解する。	
	9	37 バロックとロココ ・宮廷の美術と市民の美術について学び、双方の差異から当時の社会背景とのつながりを理解する。	8
		◆-----第2回考査	
	後期	10	38 近代美術 ・多様化した表現について学び、美術における価値意識の広がりを理解する。
11		39 現代美術 ・現代における美術の在り方を学び、自己とのつながりを理解する。 ・様々な表現の作品を鑑賞することで、多様な視点で対象や事象を捉える感覚を養う。	8
		◆-----第3回考査	
12		⑧ 日本美術史 ・日本における造形活動の歴史を学び、西洋と比較しながら日本独自の表現について理解を深める。	8
1		⑨ 卒業制作(テーマ制作) ・美術史での学びを振り返って、美術と生活、社会との関連を図りながら、自己の考えに基づいた表現を行う	12
	◆-----		

5 その他

- 1年間を通して今後の表現活動の基盤となる描写力・観察力などの基礎的な力を、実技演習を通じて育成します。
- 各単元や授業でワークシートの提出を求めます。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	油彩	単位数	4単位
		学年等	3年生普通科創造表現コース

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 高校生の美術1(日本文教出版)</p> <p>副教材 美術 表現と鑑賞(日本造形教育研究会/開隆堂出版株式会社) 実技用具など</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めているとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すために必要となる、基本的な美術表現の技能を身に付けている。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想をすることができ、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めようとしている。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、美に対する感動や、自己の考えを表現しようとしている。また、美術と生活や社会、自己との繋がりを感じ、それらを創造していく態度をもっている。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回	<p>絵画論・画材研究</p> <p>油彩実習Ⅰ(基礎技法・静物画)</p>	制作作品など	制作作品など	<p>・授業中の行動観察</p> <p>・授業ワークシート</p>
	評価点 150	50点	50点	50点
2回	<p>油彩実習Ⅱ(自由テーマ)</p> <p>絵画実習Ⅲ(大作の制作)</p>	制作作品など	制作作品など	<p>・授業中の行動観察</p> <p>・授業ワークシート</p>
	評価点 150	50点	50点	50点
3回	<p>絵画実習Ⅳ(大作の制作)</p>	制作作品など	制作作品など	<p>・授業中の行動観察</p> <p>・授業ワークシート</p>
	評価点 150	50点	50点	50点
4回	<p>油彩実習Ⅴ(自由テーマ)</p>	制作作品など	制作作品など	<p>・授業中の行動観察</p> <p>・授業ワークシート</p>
	評価点 150	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
前期	4	① 絵画論・画材研究 ・絵画技法の歴史とその描画方法について学ぶ。 ・絵画表現の技法の特徴や性質について学ぶ。	40	
	5	② 油彩実習Ⅰ(基礎技法・静物画) ・下地の必要性、画面にもたらす効果について学ぶ。 ・油彩による立体表現及び質感表現について研究する。 ・空間の構成について研究する。 ・油彩による立体表現及び質感表現について学ぶ。		
	6			
				第1回考査
	7	③ 油彩実習Ⅱ(自由テーマ) ・主題設定と表現方法の選択について研究する。 ・遠近感の表現について学ぶ。		32
	8			
	9	④ 絵画実習Ⅲ(大作の制作) ・主題設定と表現方法の選択について研究する。 ・主題を深く掘り下げる訓練をする。	第2回考査	
	後期	10	⑤ 絵画実習Ⅳ(大作の制作) ・主題を深く掘り下げ、創造的に構想する。 ・自己の感情の表出について研究する。	28
11				
12				
			第3回考査	
1		⑥ 油彩実習Ⅴ(自由テーマ) ・主題を明確にした構成について研究する。 ・構図のとり方や描画の方法について学ぶ。	40	

5 その他

- 1年間を通して今後の表現活動の基盤となる描写力・観察力などの基礎的な力を、実技演習を通じて育成します。
- 各単元や授業でワークシートの提出を求めます。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	油彩	単位数	4単位
		学年等	3年生普通科創造表現コース

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 高校生の美術1(日本文教出版)</p> <p>副教材 美術 表現と鑑賞(日本造形教育研究会/開隆堂出版株式会社) 実技用具など</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めているとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すために必要となる、基本的な美術表現の技能を身に付けている。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想をすることができ、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めようとしている。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、美に対する感動や、自己の考えを表現しようとしている。また、美術と生活や社会、自己との繋がりを感じ、それらを創造していく態度をもっている。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回	<p>絵画論・画材研究</p> <p>油彩実習Ⅰ(基礎技法・静物画)</p>	制作作品など	制作作品など	<p>・授業中の行動観察</p> <p>・授業ワークシート</p>
	評価点 150	50点	50点	50点
2回	<p>油彩実習Ⅱ(自由テーマ)</p> <p>絵画実習Ⅲ(大作の制作)</p>	制作作品など	制作作品など	<p>・授業中の行動観察</p> <p>・授業ワークシート</p>
	評価点 150	50点	50点	50点
3回	<p>絵画実習Ⅳ(大作の制作)</p>	制作作品など	制作作品など	<p>・授業中の行動観察</p> <p>・授業ワークシート</p>
	評価点 150	50点	50点	50点
4回	<p>油彩実習Ⅴ(自由テーマ)</p>	制作作品など	制作作品など	<p>・授業中の行動観察</p> <p>・授業ワークシート</p>
	評価点 150	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
前期	4	⑤ 絵画論・画材研究 ・絵画技法の歴史とその描画方法について学ぶ。 ・絵画表現の技法の特徴や性質について学ぶ。	40	
	5	⑥ 油彩実習Ⅰ(基礎技法・静物画) ・下地の必要性、画面にもたらす効果について学ぶ。 ・油彩による立体表現及び質感表現について研究する。 ・空間の構成について研究する。 ・油彩による立体表現及び質感表現について学ぶ。		
	6			
	6			
				◆-----第1回考査
	7	⑦ 油彩実習Ⅱ(自由テーマ) ・主題設定と表現方法の選択について研究する。 ・遠近感の表現について学ぶ。		32
	8			
	9	⑧ 絵画実習Ⅲ(大作の制作) ・主題設定と表現方法の選択について研究する。 ・主題を深く掘り下げる訓練をする。		
				◆-----第2回考査
後期	10	⑤ 絵画実習Ⅳ(大作の制作) ・主題を深く掘り下げ、創造的に構想する。 ・自己の感情の表出について研究する。	28	
	11			
	12			
		◆-----第3回考査		
	1	⑥ 油彩実習Ⅴ(自由テーマ) ・主題を明確にした構成について研究する。 ・構図のとり方や描画の方法について学ぶ。		
		◆-----	40	

5 その他

- 1年間を通して今後の表現活動の基盤となる描写力・観察力などの基礎的な力を、実技演習を通じて育成します。
- 各単元や授業でワークシートの提出を求めます。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	英語コミュニケーションⅢ	単位数	3単位
		学年等	3年生普通科創造表現コース

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>英語の言語知識や5つの領域の活動に役立つ知識を理解し、それらを実際の言語活動で活用できる技能を身に付けられるようにする。詳細は以下の通りとする。</p> <p>(1) 知識として知るべき内容を習得するとともに、豊かな思考力を鍛える。また、自国および世界の文化への理解を促し、自分を取り巻く世界に広く目を向けることができるようにする。</p> <p>(2) 各レッスンの題材内容の要点などを的確に理解し、理解した内容を活用して、表現したり伝え合ったりすることができるようにする。</p> <p>(3) 積極的に英語を使ってコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、これからの国際社会に生きる日本人として必要なコミュニケーション能力を養うことができるようにする。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 ELEMENT English Communication Ⅲ(啓林館)</p> <p>副教材 Cutting Edge Green(エミル出版)</p> <p>2026 共通テスト対策実力完成直前演習 英語リーディング 40min.×14(ベネッセ)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<p>英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。</p> <p>話されたり書かれたりする文章等を聞いたり読んだりして、その内容を捉える技能を身に付けている。</p> <p>情報や考え、気持ちなどを基本的な語句や文を用いて話したり書いたりして表現したり伝え合ったりするために必要な技能を身に付けている。</p>	<p>必要な情報を読み取り、話し手や書き手の意図を把握したり、概要や要点などを目的に応じて捉えている。</p> <p>情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話したり書いたりして表現したり伝え合ったりしている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

考查	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回	Lesson1: Energy Lesson2: Environment and Life Lesson3: Health and Life	定期考查 実力テスト 小テスト	定期考查 実力テスト パフォーマンス課題	パフォーマンス課題 提出物
	評価点 150点	50点	50点	50点
2回	Lesson4: Humans and Technology Lesson5: Diversity Cutting Edge Green 9~10	定期考查 実力テスト 小テスト	定期考查 実力テスト パフォーマンス課題	パフォーマンス課題 提出物
	評価点 150点	50点	50点	50点
3回	Lesson7: Miracles of Nature Cutting Edge Green 11~12	定期考查 実力テスト 小テスト	定期考查 実力テスト パフォーマンス課題	パフォーマンス課題 提出物
	評価点 150点	50点	50点	50点
4回	2026 共通テスト対策実力完成直前演習 英語リーディング 40min.×14(ベネッセ)	実力テスト 小テスト	実力テスト パフォーマンス課題	パフォーマンス課題 提出物
	評価点 150点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	Lesson1: Energy	30
	5	Lesson2: Environment and Life	
	6	Lesson3: Health and Life パフォーマンス課題:面接 第1回考査	
	7	Lesson4: Humans and Technology	
	8	Lesson5: Diversity	
	9	Cutting Edge Green (2年次の続きから)9~10 パフォーマンス課題:面接 第2回考査	
			24
後期	10	Lesson7: Miracles of Nature	21
	11	Cutting Edge Green 11~12 パフォーマンス課題:面接 第3回考査	
	12	◆	
	1	2026 共通テスト対策実力完成直前 英語リーディング 40min.×14(ベネッセ)	
			30

5 その他

上記学習計画の中で、普通科創造表現コースでは、教科書に加え入試問題集(Cutting Edge Green)を用い、読解力のみならず、聞く、読む、書く、話すの4技能を有機的に関連づけて学習する。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	論理・表現Ⅲ	単位数	2単位
		学年等	3年生普通科普通

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	英語の言語知識や5つの領域の活動に役立つ知識を理解し、それらを実際の言語活動で活用できる技能を身に付けられるようにする。詳細は以下の通りとする。 言語や文化に対する理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする態度を養うとともに、論理的な思考力を養い、論理の展開や表現の方法を工夫し、伝える能力を養う。
使用教科書 副教材等	教科書 FACTBOOK English Logic and Expression Ⅲ(桐原書店) 副教材 共通テストリスニング 実践 30min. 2026(エミル出版) 2026 共通テスト対策実力完成 英語リスニング 30min.×7(ベネッセ) Write to the Point(数研出版) 自分の力で書く大学入試英作文 FINAL DRAFT(いっずな書店)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	習得すべき知識や重要な概念等を理解している。それらを既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等として理解したり、技能を習得したりしている。	知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。	知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしている。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

考查	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回	Unit3 How do people use different types of media? Unit9 Reading e-books or printed books? Unit10 The way we live together in the same world Write to the Point Lesson1~4	定期考査 実力テスト 小テスト	定期考査 実力テスト パフォーマンス課題	パフォーマンス課題 提出物
	評価点 150点			
2回	Unit5 Moving toward a cashless society Write to the Point Lesson5~12	定期考査 実力テスト 小テスト	定期考査 実力テスト パフォーマンス課題	パフォーマンス課題 提出物
	評価点 150点			
3回	Unit7 Japanese culture attracting people all over the world Write to the Point Lesson13~18	定期考査 実力テスト 小テスト	定期考査 実力テスト パフォーマンス課題	パフォーマンス課題 提出物
	評価点 150点			
4回	2026 共通テスト対策実力完成 英語リスニング 30min.×7(ベネッセ)	実力テスト 小テスト	実力テスト パフォーマンス課題	パフォーマンス課題 提出物
	評価点 150点			

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	Unit3 How do people use different types of media?	20
	5	Unit9 Reading e-books or printed books?	
	6	Unit10 The way we live together in the same world Write to the Point Lesson1~4	
	7	活動:ディベート&ライティング 第1回考査	
	8	Unit5 Moving toward a cashless society	
後期	9	Write to the Point Lesson5~12 活動:ディスカッション&ライティング 第2回考査	16
	10	Unit7 Japanese culture attracting people all over the world	14
	11	Write to the Point Lesson13~18 活動:スピーチ&ライティング 第3回考査	
12	2026 共通テスト対策実力完成 英語リスニング 30min.×7(ベネッセ)		
	1		20

5 その他

上記学習計画の中において副教材を用い、論理的な思考力を養い、論理的な展開や表現を工夫しつつ、聞く、読む、書く、話すの4技能を有機的に関連づけて学習する。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	論理・表現Ⅲ	単位数	2単位
		学年等	3年生普通科創造表現コース

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	英語の言語知識や5つの領域の活動に役立つ知識を理解し、それらを実際の言語活動で活用できる技能を身に付けられるようにする。詳細は以下の通りとする。 言語や文化に対する理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする態度を養うとともに、論理的な思考力を養い、論理の展開や表現の方法を工夫し、伝える能力を養う。
使用教科書 副教材等	教科書 FACTBOOK English Logic and Expression Ⅲ(桐原書店) 副教材 FACTBOOK English Logic and Expression Ⅲ Workbook(桐原書店) 共通テストリスニング 実践 30min. 2026(エミル出版) 2026 共通テスト対策実力完成直前 英語リスニング 30min.×7(ベネッセ)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	習得すべき知識や重要な概念等を理解している。それらを既有的の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等として理解したり、技能を習得したりしている。	知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。	知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしている。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

考查	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回	Unit1 Future of jobs in the AI era Unit2 How have you grown as a person in your school life? Unit3 How do people use different types of media?	定期考查 実力テスト 小テスト	定期考查 実力テスト パフォーマンス課題	パフォーマンス課題 提出物
	評価点 150点	50点	50点	50点
2回	Unit4 3R approach in order to save the environment Unit5 Moving toward a cashless society	定期考查 実力テスト 小テスト	定期考查 実力テスト パフォーマンス課題	パフォーマンス課題 提出物
	評価点 150点	50点	50点	50点
3回	Unit9 Reading e-books or printed books Unit10 The way we live together in the same world	定期考查 実力テスト 小テスト	定期考查 実力テスト パフォーマンス課題	パフォーマンス課題 提出物
	評価点 150点	50点	50点	50点
4回	2026 共通テスト対策実力完成直前 英語リスニング 30min.×7(ベネッセ)	実力テスト 小テスト	実力テスト パフォーマンス課題	パフォーマンス課題 提出物
	評価点 150点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	Unit1 Future of jobs in the AI era	20
	5	Unit2 How have you grown as a person in your school life?	
	6	Unit3 How do people use different types of media? 活動:ディベート&ライティング	
		◆-----第1回考査	
	7	Unit4 3R approach in order to save the environment	
後期	8	Unit5 Moving toward a cashless society	16
	9	活動:ディスカッション&ライティング	
		◆-----第2回考査	
後期	10	Unit9 Reading e-books or printed books	14
	11	Unit10 The way we live together in the same world 活動:スピーチ&ライティング	
	12	◆-----第3回考査	
	1	2026 共通テスト対策実力完成 英語リスニング 30min.×7(ベネッセ)	
			20

5 その他

上記学習計画の中において副教材を用い、論理的な思考力を養い、論理的な展開や表現を工夫しつつ、聞く、読む、書く、話すの4技能を有機的に関連づけて学習する。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	英語講読	単位数	2単位
		学年等	3年生普通科普通(文科型)

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>外国語による読むことの言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、読むことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。</p> <p>(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 ELEMENT English Communication Ⅲ(啓林館)</p> <p>副教材 Cutting Edge Orange(エミル出版)</p> <p>SKYWARDS CLOUDS Course 3rd Edition(桐原書店)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<p>文法の形・意味・用法を理解している。</p> <p>本文の内容について説明するための適切な表現や方法を理解している。</p> <p>本文の内容について、参照した情報を基に、自分の表現に変えて伝える技能を身に付けている。</p>	<p>本文の内容について、参照した情報を基に、ポイントとなる内容を簡潔に整理して、「話す」「書く」活動を通して、周りの人に説明できる力を身に付けている。</p>	<p>本文の内容について、重要な点を簡潔に整理して、聞き手にわかりやすく詳細を話して伝えようとしている。また、自ら進んで知識・技能を取得し、それらを活用し、主体的に学習に取り組む姿勢を持っている。</p>
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

考查	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1回	Lesson5: Diversity	定期考查 実力テスト 小テスト	定期考查 実力テスト	提出物
	Lesson6: Education 評価点 150点			
2回	Lesson8: Sustainable Development	定期考查 実力テスト 小テスト	定期考查 実力テスト	提出物
	Cutting Edge Orange1~3(発展コース) SKYWARDS CLOUDS Course1~3(標準コース) 評価点 150点			
3回	Lesson10: Human Relationships	定期考查 実力テスト 小テスト	定期考查 実力テスト	提出物
	Cutting Edge Orange4~6(発展コース) SKYWARDS CLOUDS Course4~6(標準コース) 評価点 150点			
4回	Cutting Edge Orange7~18(発展コース)	実力テスト 小テスト	実力テスト	提出物
	SKYWARDS CLOUDS Course7~20(標準コース) 評価点 150点			

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	Lesson5: Diversity	20
	5	Lesson6: Education	
		◆-----	
		Lesson8: Sustainable Development	
	6	Cutting Edge Orange1~3(発展コース)	
		7	
	8		
	9		
	後期	10	
11		Cutting Edge Orange 4~6(発展コース)	
12		SKYWARDS CLOUDS Course 4~6(標準コース)	
		◆-----	
1		Cutting Edge Orange 7~10(発展コース)	
	SKYWARDS CLOUDS Course 7~10(標準コース)		

5 その他

上記学習計画の中において「Cutting Edge Orange(発展コース)」、「SKYWARDS CLOUDS Course(標準コース)」を用い、多様な英語の形式に触れ、読解力のみならず、聞く、読む、書く、話すの4技能を有機的に関連づけて学習する。